

2022年度 無線LAN提供者意識調査 結果概要

2023年3月

提供者調査 調査結果概要

本資料では、提供者向けアンケート調査の概要（結果の傾向に対する考察）を、以下の7つの分類ごとにまとめ、図表化して説明します。

- ① 提供する「無線LANサービス」の概要について(Q1-Q8)
- ② 利用者を守るための対策について(Q9-Q17)
- ③ 無線LANを安全に提供するための対策について(Q18-25)
- ④ 利用者に安心を提供するための対策について(Q26-Q29)
- ⑤ 無線LANのセキュリティ等全般について(Q31-Q42)
- ⑥ 企業における業種による特徴について
- ⑦ 情報セキュリティ責任者の設定の有無による結果の差異について

① 提供する「無線LANサービス」の概要について

全般的な傾向は前年と同様

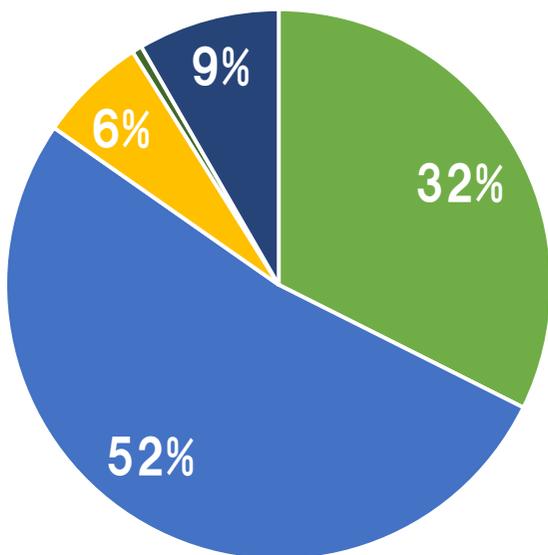
- アンケート回答に対して、自治体、企業ともに、おおむね9割が無線LANサービスを導入していると回答(Q1)。
- 無線LANサービス自体は増加しているが、新規導入数は2017年をピークに少しずつ減少している(Q2)。
- 運用管理については、内製率が自治体では約6割、企業では約4割強であったが、企業、自治体ともに約2割が担当者が不在またはわからないとの回答があった(Q6)。
- 目的として「観光客の誘客」が減少し、相対的に「災害時の活用」が増加しているがこれらは、新型コロナウイルス感染症が影響していると思われる(Q7)。
- 利用している無線方式は、新規に導入したもののから最新の規格(802.11ac/11ax)になってきているため、最新規格の利用率も向上している(Q7)。
- 最新の方式(Wi-Fi 6E / WiGig / Wi-Fi HaLow)については、まだまだ導入率、導入検討率は低い(Q7)。

Q1:無線LANサービスの導入

【単一回答】

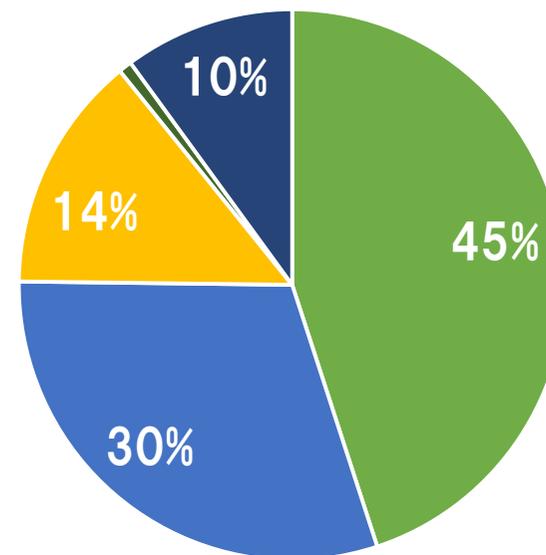
導入率は、自治体は年々増加(84%→86%→91%)、企業はほぼ横ばい(88%→90%→89%)

自治体



【n=847】

企業



【n=129】

選択回答	1	2	3	4	5
件数	274	443	54	5	71
割合	32%	52%	6%	1%	8%

選択回答	1	2	3	4	5
件数	58	39	18	1	13
割合	45%	30%	14%	1%	10%

- 1.貴社・貴団体が独自に仕様を定めた「無線LANサービス」を導入している
- 2.通信事業者等が提供する「無線LANサービス」を導入している
- 3.貴社・貴団体が独自に仕様を定めたものと、通信事業者等による「無線LANサービス」の両方を導入している
- 4.管理する施設において「無線LANサービス」は導入していたが、提供をやめた
- 5.管理する施設において「無線LANサービス」は導入していない

Q2: 無線LANサービスの導入時期

【単一回答】

2017年以降、新規導入数は年々減少

自治体

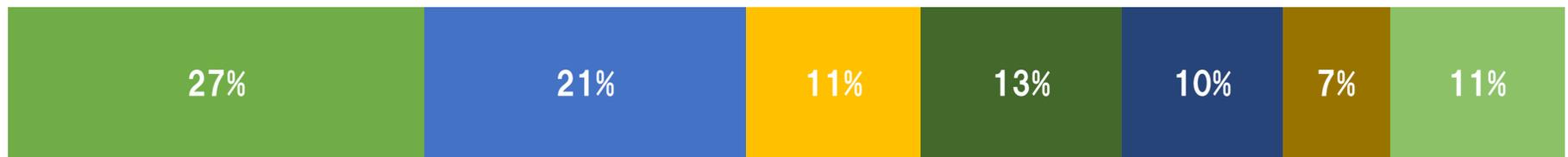
【n=775】



選択回答	1	2	3	4	5	6	7
件数	80	86	187	144	132	113	33
割合	10%	11%	24%	19%	17%	15%	4%

企業

【n=116】



選択回答	1	2	3	4	5	6	7
件数	31	24	13	15	12	8	13
割合	27%	21%	11%	13%	10%	7%	11%

■ 1.2012年度以前	■ 2.2013～2014年度	■ 3.2015～2016年度	■ 4.2017～2018年度
■ 5.2019～2020年度	■ 6.2021～2022年度	■ 7.わからない	

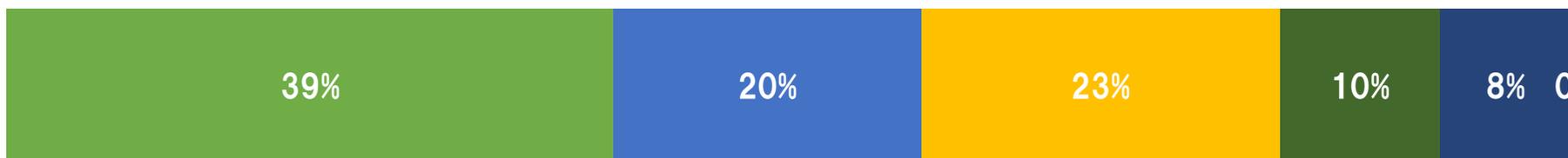
Q6: 無線LANサービスの運用管理

【単一回答】

内製率が自治体では約6割、企業では約4割強、約2割が担当者が不在またはわからない

自治体

【n=766】



選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	296	150	175	78	64	3
割合	39%	20%	23%	10%	8%	0%

企業

【n=115】



選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	30	19	41	18	5	2
割合	26%	17%	36%	16%	4%	2%

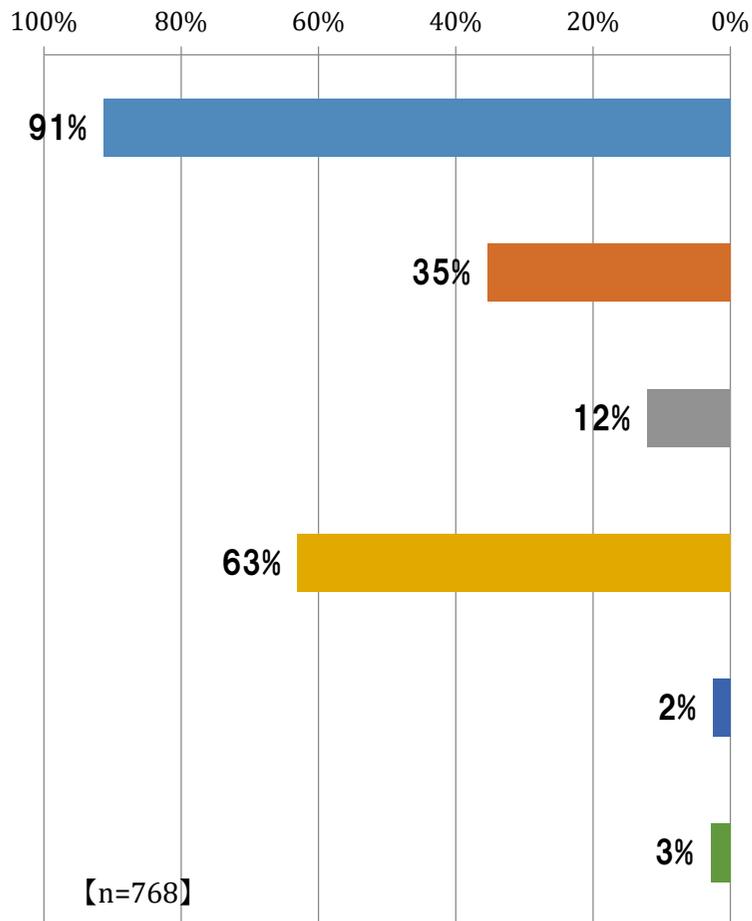
- 1.システム部門の社員・職員が担当している
- 2.システム部門外の社員・職員が担当している
- 3.委託した外部業者が担当している
- 4.担当者がいない(構築だけ外部業者に発注した等)
- 5.その他
- 6.わからない

Q7:無線LANサービスの目的

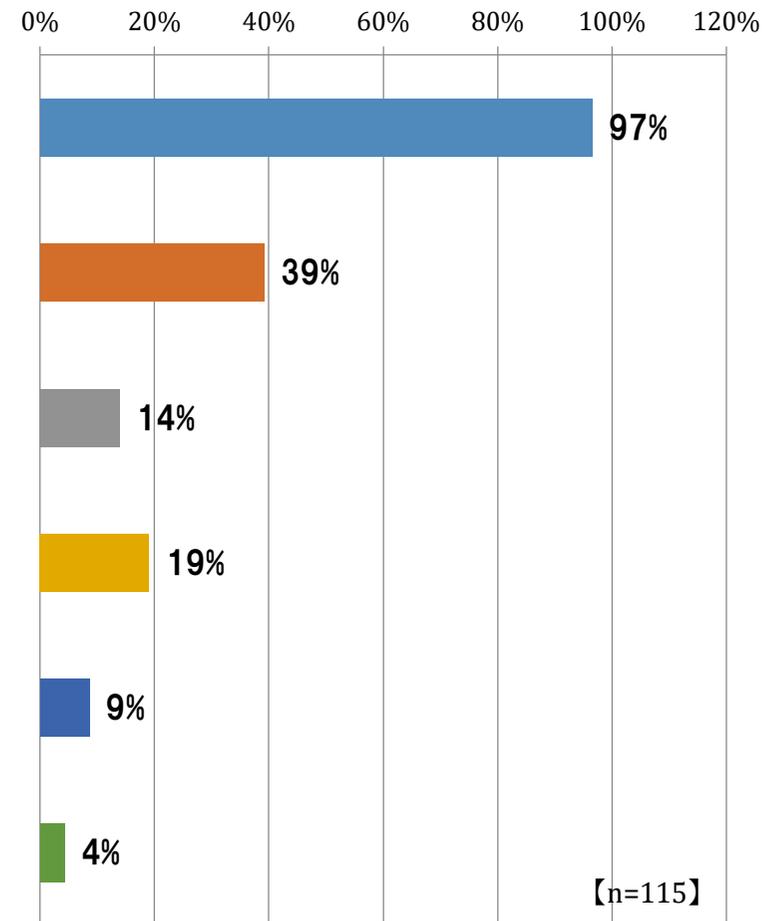
【複数回答】

観光客の誘客およびキャリアからの依頼の率が減少

自治体



企業



選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	701	272	93	484	19	22
割合	91%	35%	12%	63%	2%	3%

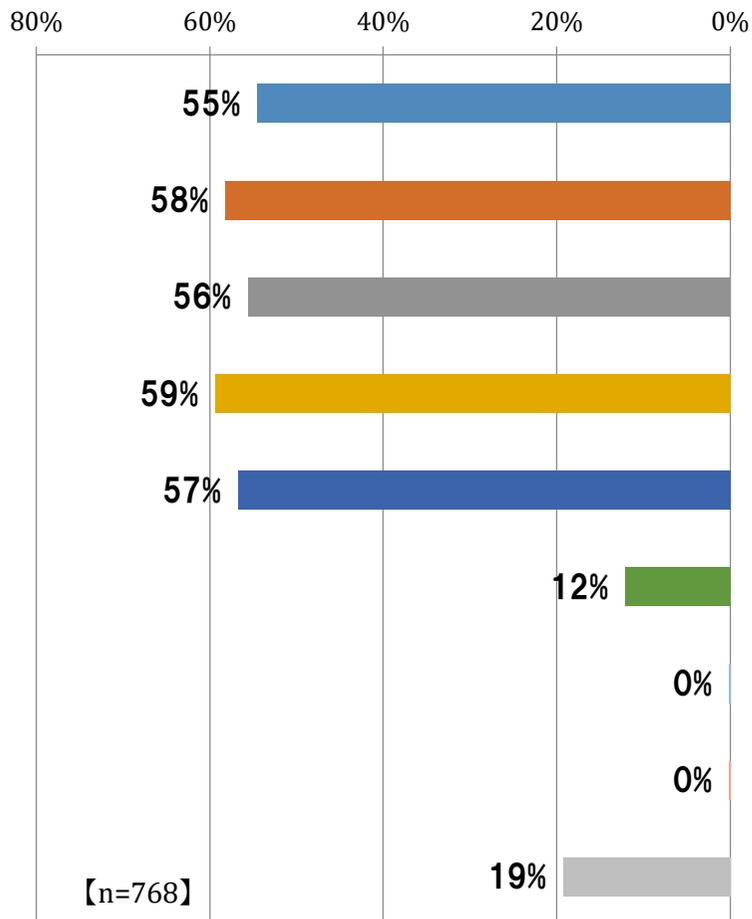
選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	111	45	16	22	10	5
割合	97%	39%	14%	19%	9%	4%

Q8: 無線LANサービスの伝送規格

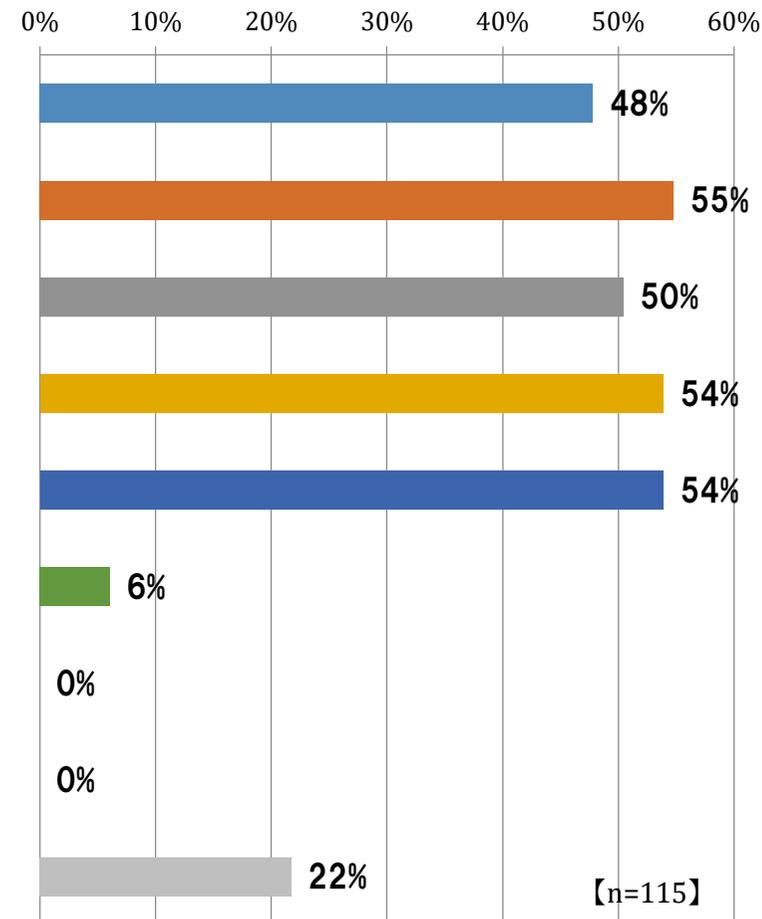
【複数回答】

最新規格(ac/ax)の採用率が増加。自治体(53%→64%→69%)、企業(44%→52%→60%)

自治体



企業



選択回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
件数	419	447	427	456	436	93	1	1	148
割合	55%	58%	56%	59%	57%	12%	0%	0%	19%

選択回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9
件数	55	63	58	62	62	7	0	0	25
割合	48%	55%	50%	54%	54%	6%	0%	0%	22%

② 利用者を守るための対策について

回答には以下のような特徴がみられた。

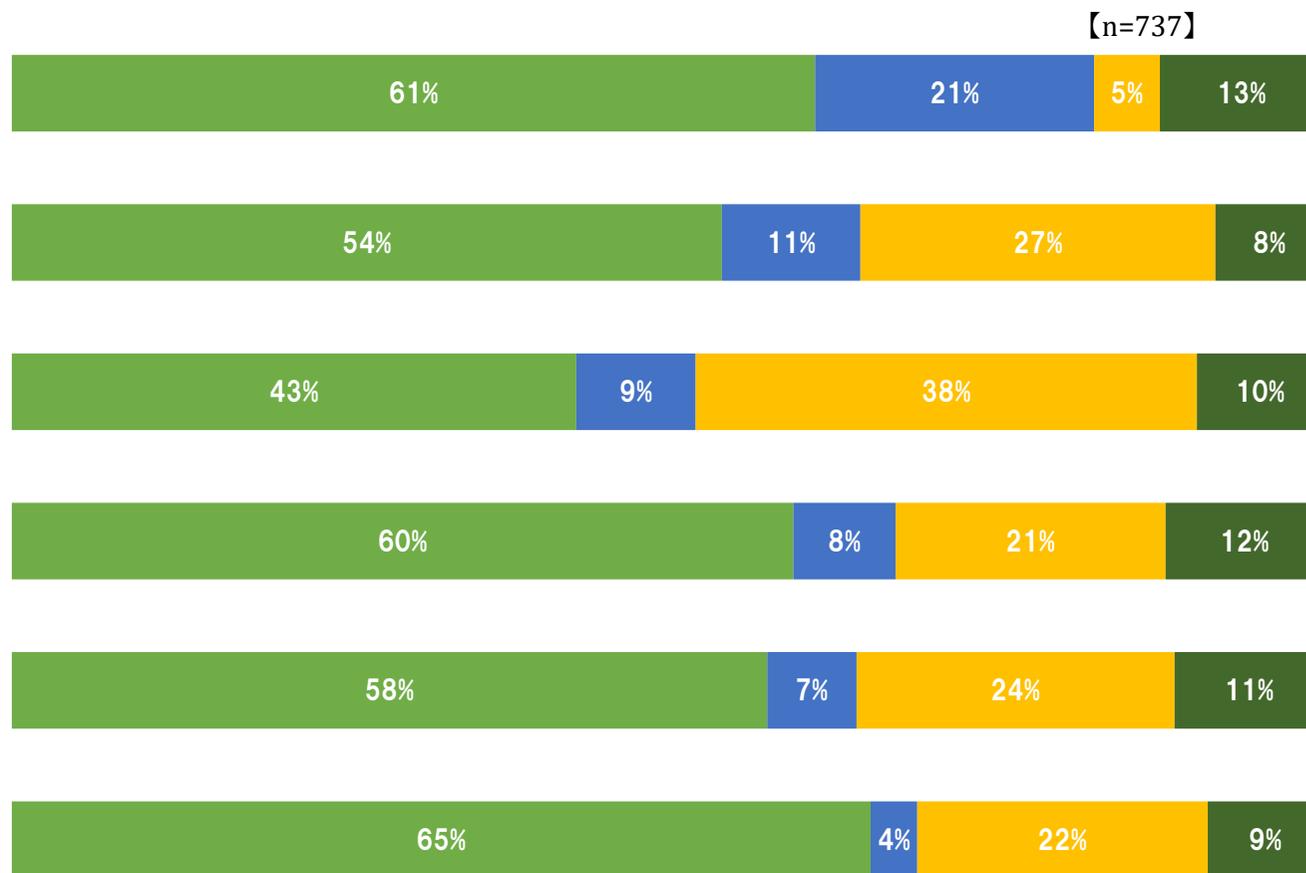
- 最近の傾向として無線LANを暗号化している率は着実に伸びている。特に2017年以降に導入されたものは暗号化率が高い(Q9)。
- 暗号化方式もWPA3の採用は着実に増加しているが、WEP/WPAを活用している事例も一定数みられる(特に規模の小さなもの)。これらは、知識のある人が不在であったり、設備を更改するコストを捻出できない、などの理由が考えられる(Q10)。
- セキュリティのリスクについては、規模の大きなものほど認知率が高くなるが、認知率そのものは、大きな改善は見られない(Q11)。
- 端末の折り返し通信のリスクについては認知率が向上している(Q13)が偽アクセスポイントに対する対策は横ばい(Q17)

Q9: 無線LANサービスの暗号化@導入時期

【単一回答】

2017年以降に導入されたものは、「暗号化している」サービスの導入件数が増加傾向

選択回答	件数	割合
2012年度以前	80	11%
2013～2014年度	85	12%
2015～2016年度	186	25%
2017～2018年度	141	19%
2019～2020年度	132	18%
2021～2022年度	113	15%



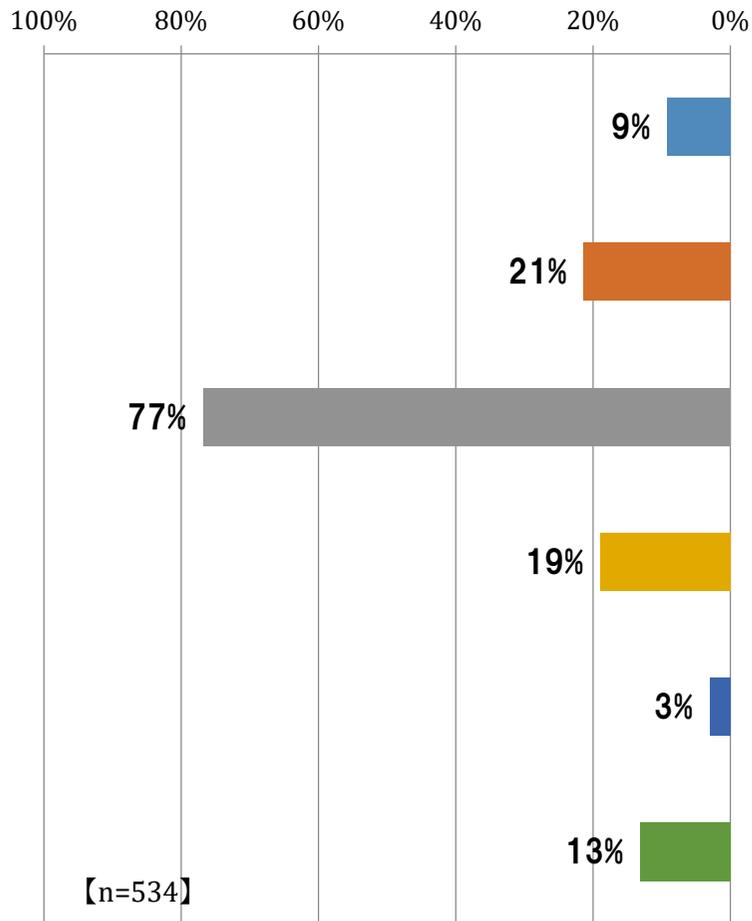
- 1.暗号化している
- 2.暗号化しているものと、暗号化していないものの両方を提供している
- 3.暗号化していない
- 4.わからない

Q10: 無線LANサービスの暗号化方式

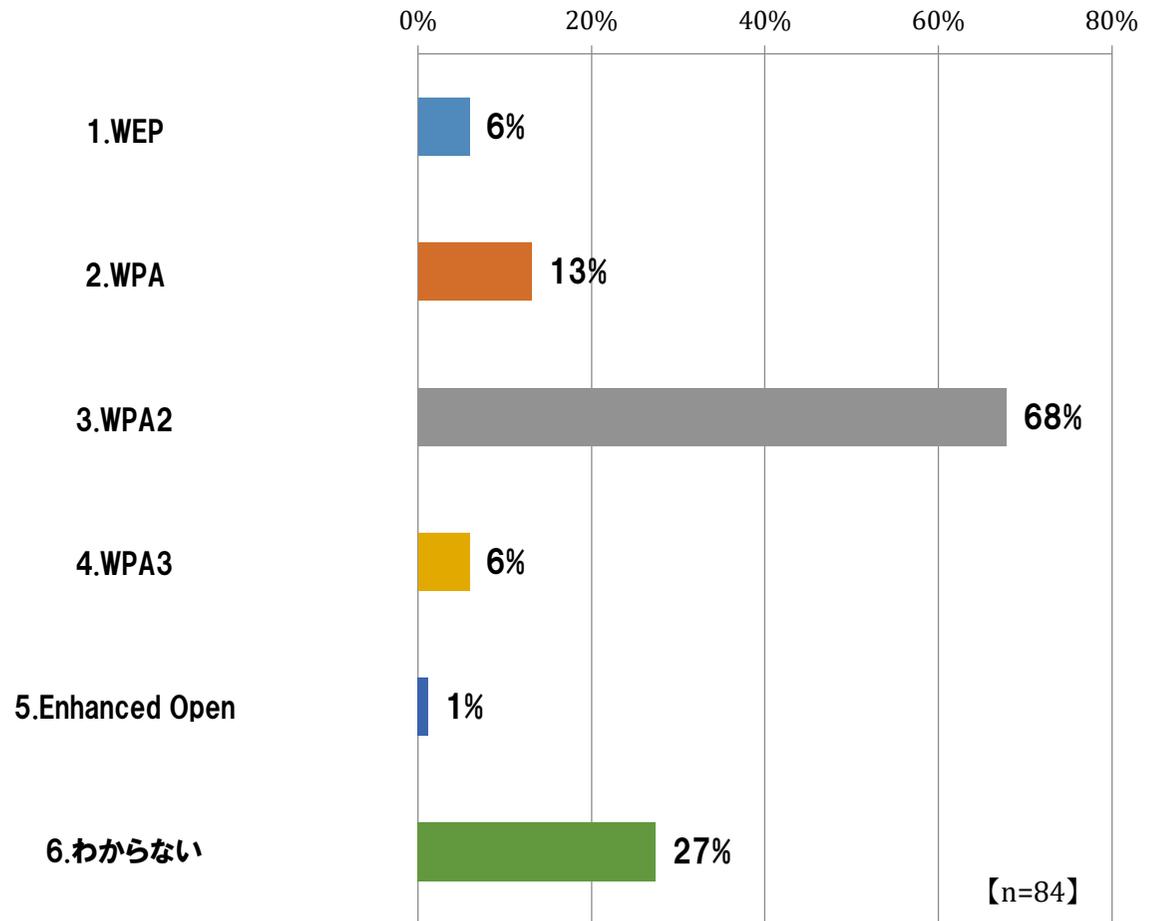
【複数回答】

禁止・非推奨の方式(WEP/WPA)の利用は減少しているが依然として無くない

自治体



企業



選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	49	114	410	101	16	70
割合	9%	21%	77%	19%	3%	13%

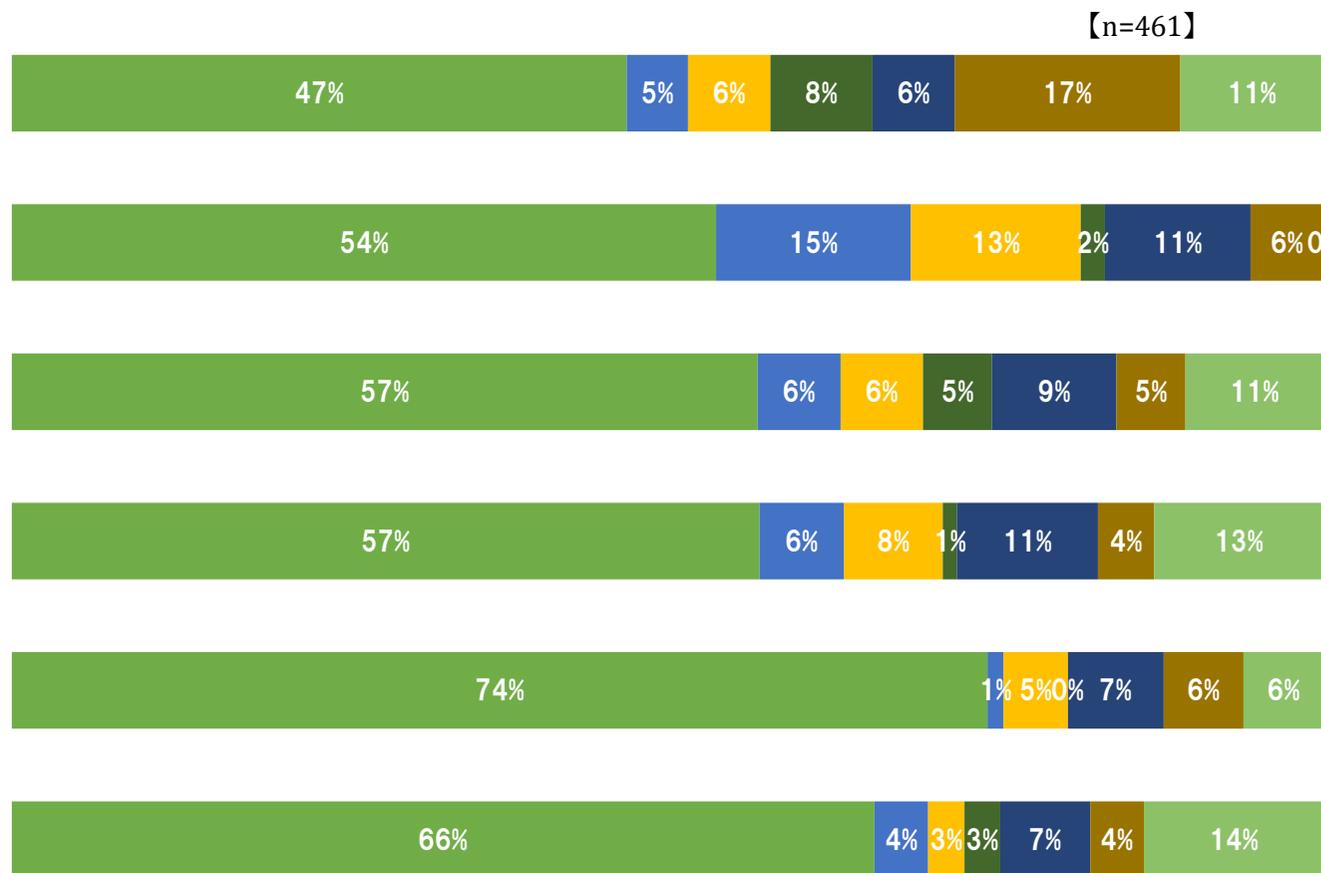
選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	5	11	57	5	1	23
割合	6%	13%	68%	6%	1%	27%

Q11:暗号化方式のセキュリティリスク@導入時期

【単一回答】

最近サービスを開始した例では、8割以上がセキュリティリスクを認識している

選択回答	件数	割合
2012年度以前	64	14%
2013～2014年度	54	12%
2015～2016年度	95	21%
2017～2018年度	93	20%
2019～2020年度	82	18%
2021～2022年度	73	16%



- 1. WEPやWPAを使っていない
- 2. セキュリティリスクを認識しており、更改を検討中
- 3. セキュリティリスクを認識しているが、更改費用が捻出できず利用し続けている
- 4. セキュリティリスクを認識しているが、利用者の要望があり利用し続けている
- 5. セキュリティリスクを認識しているが、利用者がTLS(https)接続等を利用すれば問題ないため利用し続けている
- 6. セキュリティリスクを認識しているが、その他の理由により利用し続けている
- 7. セキュリティリスクがあることを知らなかった

Q13:セキュリティリスクに対する認識

【単一回答】

昨年と同様の傾向。自治体の両方のリスク認識率は向上(52%→60%)。

自治体

【n=761】



選択回答	1	2	3	4
件数	455	122	42	142
割合	60%	16%	6%	19%

企業

【n=113】



選択回答	1	2	3	4
件数	66	19	5	23
割合	58%	17%	4%	20%

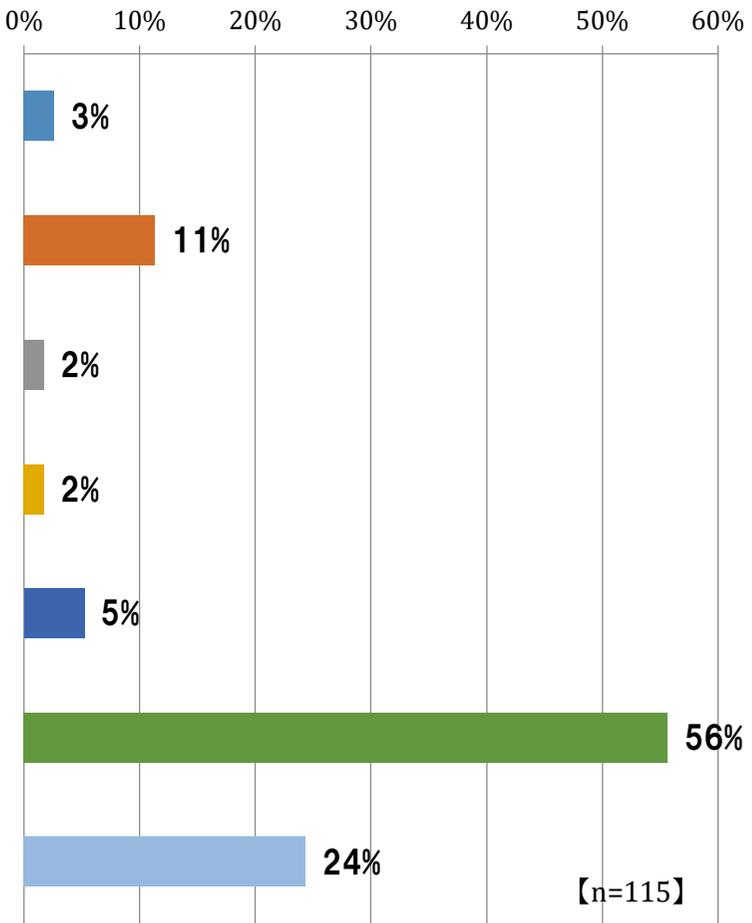
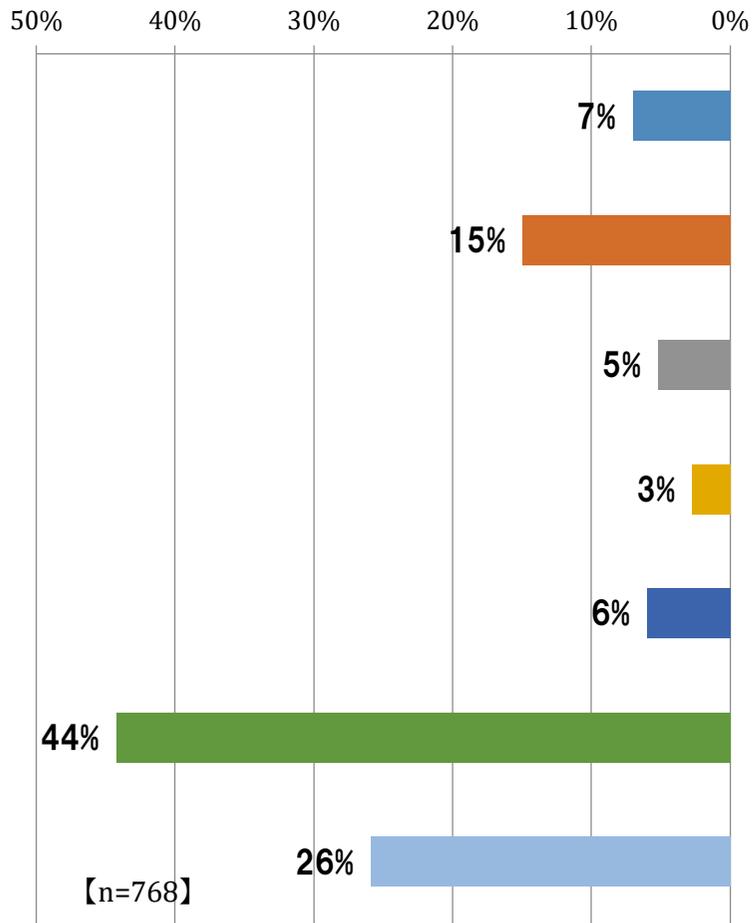
- 1. 解読可能なリスクも、偽アクセスポイント設置のリスクも知っていた
- 2. 解読可能なリスクのみ知っていた
- 3. 偽アクセスポイント設置のリスクのみ知っていた
- 4. リスクが生じることを知らなかった

Q17: 偽アクセスポイントへの対策

昨年と同様の傾向。「何もしていない」という回答が約半数。

自治体

企業



選択回答	1	2	3	4	5	6	7
件数	54	115	40	21	46	340	199
割合	7%	15%	5%	3%	6%	44%	26%

選択回答	1	2	3	4	5	6	7
件数	3	13	2	2	6	64	28
割合	3%	11%	2%	2%	5%	56%	24%

③ 無線LANを安全に提供するための対策について

回答には以下のような特徴がみられた。

- 全般的に、各対策の実施率は横ばいであり、大きな改善は見られない(Q18～Q20)。
- 一般的に、規模の大きな事業者ほど、いろいろな策を実施している率は高くなっている(Q18～Q20)。
- 端末認証は「メール認証方式」と「SNS認証方式」が定着してきている。企業では利便性のため、無認証の事例も多い(Q21)。
- セキュリティ責任者を設定している組織の率は、前年に増加していることが確認できたが、本年はさらに増加している(Q25)。

Q18: 管理者パスワードの管理

セキュリティが保持(1～3)割合は横ばい。自治体(73%→74%)、企業(78%→75%)

自治体

【n=768】



選択回答	1	2	3	4	5
件数	396	54	118	46	154
割合	52%	7%	15%	6%	20%

企業

【n=115】



選択回答	1	2	3	4	5
件数	70	9	8	10	18
割合	61%	8%	7%	9%	16%

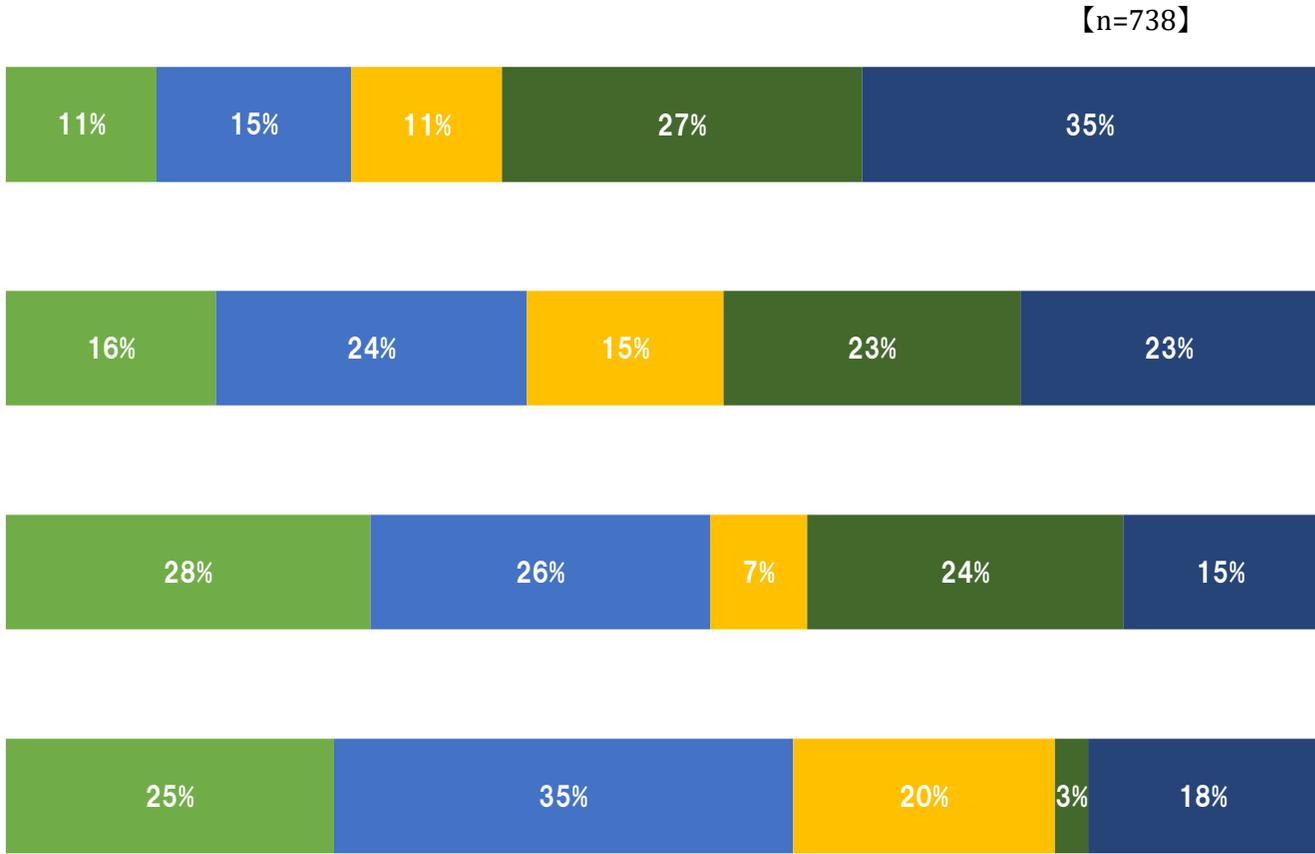
- 1. 初期設定から変更している(第三者から推測されにくいものを設定している)
- 2. 初期設定から変更している(第三者から推測されやすいものかどうか検討していない)
- 3. 初期設定のまま使用している(初期設定のパスワードが十分複雑なものであった)
- 4. 初期設定のまま使用している(初期設定のパスワードを気にしていない)
- 5. わからない

Q19:ネットワーク機器のファームアップ@導入規模

【単一回答】

設備規模が大きいほど、バージョンアップを実施している率が高い

選択回答	件数	割合
1~10台	357	48%
11~50台	287	39%
51~100台	54	7%
101台以上	40	5%



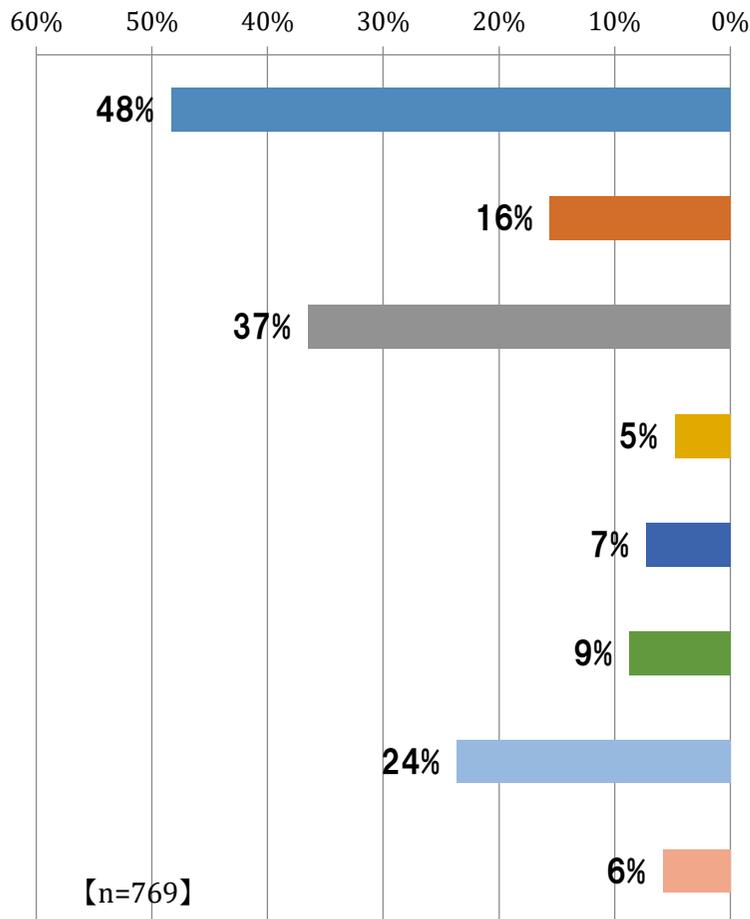
- 1. 定期的を確認することをルール化し、バージョンアップを実施している
- 2. ルールは決めていないが、概ね年1回程度以上は確認し、バージョンアップを実施している
- 3. ルールは決めていないが、年1回程度未満の頻度で確認しバージョンアップを実施している
- 4. バージョンアップを実施していない
- 5. わからない

Q21:サービス利用者の認証方式

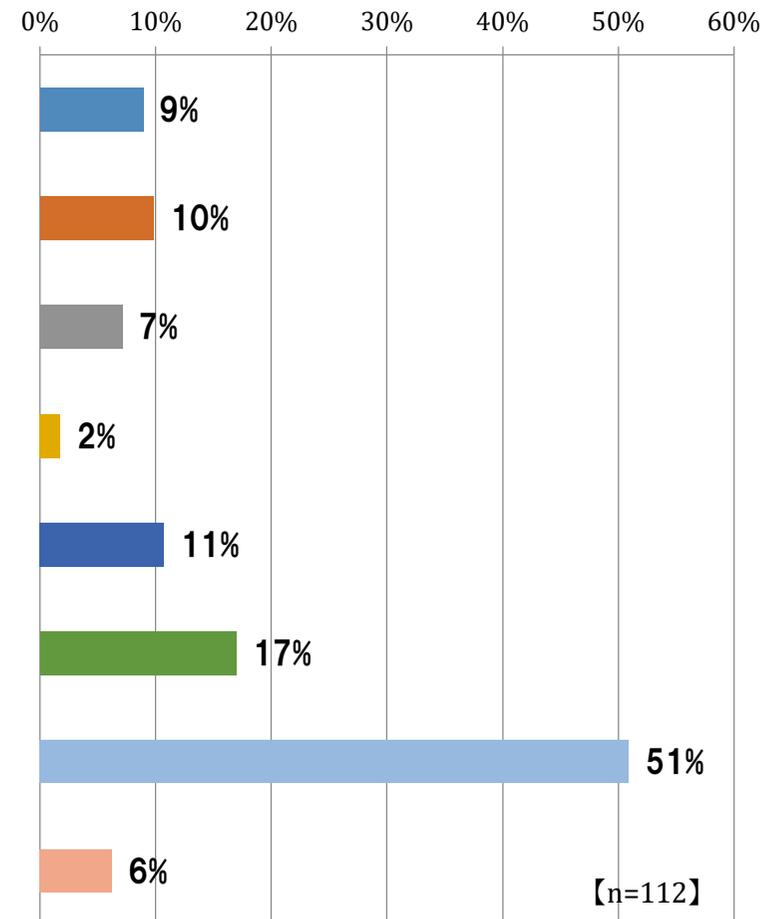
【複数回答】

昨年と同様の傾向。自治体はメール認証/SNS認証が多く、企業では非認証も多い

自治体



企業



選択回答	1	2	3	4	5	6	7	8
件数	372	120	281	37	56	67	182	45
割合	48%	16%	37%	5%	7%	9%	24%	6%

選択回答	1	2	3	4	5	6	7	8
件数	10	11	8	2	12	19	57	7
割合	9%	10%	7%	2%	11%	17%	51%	6%

Q25:セキュリティ責任者の設置

【単一回答】

責任者の設置率は自治体が多く、昨年から微増。自治体(87%→88%)、企業(51%→54%)

自治体

【n=768】



選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	512	26	16	124	40	50
割合	67%	3%	2%	16%	5%	7%

企業

【n=115】



選択回答	1	2	3	4	5	6
件数	23	5	1	33	37	16
割合	20%	4%	1%	29%	32%	14%

- 1.経営層のCISOを設置している(社内規程等の内部規程で明確に定めている)
- 2.経営層のCISOを設置している(社内規程等の内部規程では定めていない)
- 3.経営層ではないが、CISOを設置している
- 4.CISOではないが、情報セキュリティの責任者を決めている
- 5.情報セキュリティの責任者は決まっていない
- 6.わからない

④ 利用者に安心を提供するための対策について

回答には以下のような特徴がみられた。

- 全般的に、昨年改善が見られた対策の実施率は、本年は横ばい状態で改善は見られなかった。

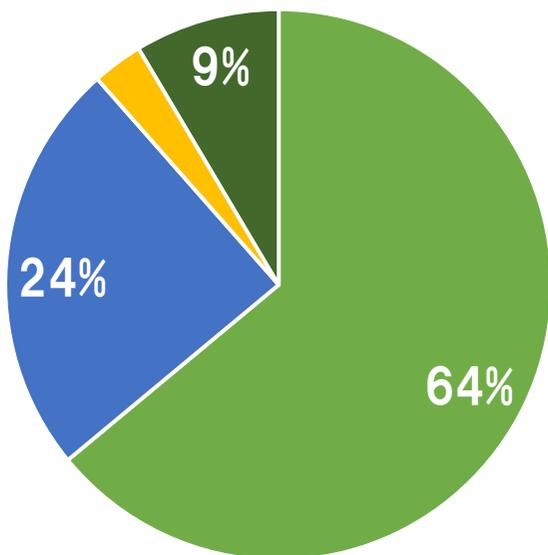
Q26: 無線LANサービスの利用規約

【単一回答】

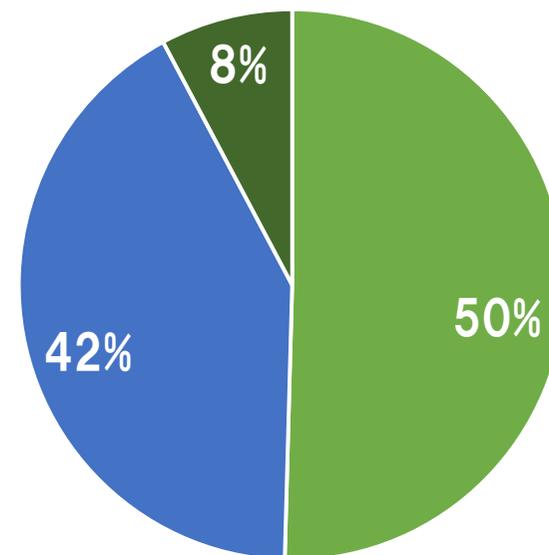
利用規約を定めている率はやや減少。自治体(70%→67%)、企業(58%→50%)

自治体

企業



【n=770】



【n=115】

選択回答	1	2	3	4
件数	493	188	23	66
割合	64%	24%	3%	9%

選択回答	1	2	3	4
件数	58	48	0	9
割合	50%	42%	0%	8%

■ 1.定めている

■ 2.定めていない

■ 3.定めている無線LANサービスと、定めていない無線LANサービスの両方がある

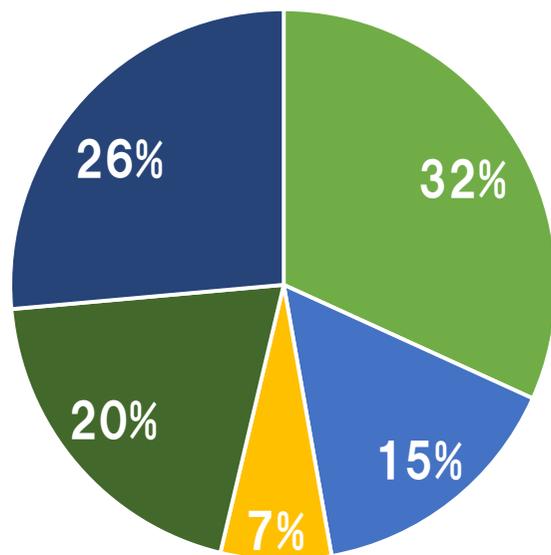
■ 4.わからない

Q30:利用者情報のデータ保護

【単一回答】

昨年と同様の傾向。データ保護の認識は微増(自治体52%→54%、企業37%→43%)

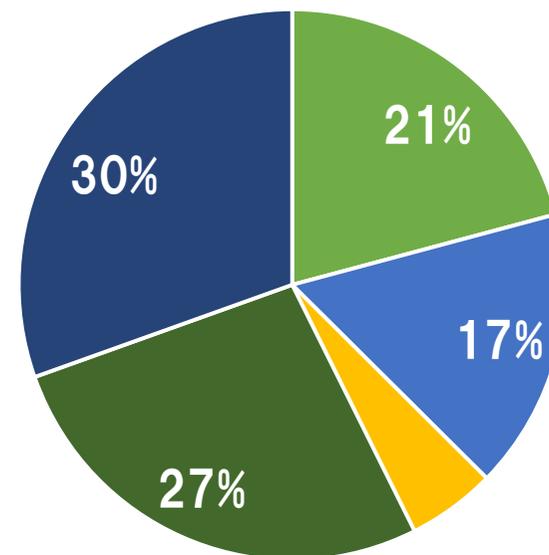
自治体



【n=765】

選択回答	1	2	3	4	5
件数	243	118	50	152	202
割合	32%	15%	7%	20%	26%

企業



【n=115】

選択回答	1	2	3	4	5
件数	24	19	6	31	35
割合	21%	17%	5%	27%	30%

- 1.ポリシー(規程)も責任者も明確にしている
- 2.ポリシー(規程)のみ明確にしている
- 3.責任者のみ明確にしている
- 4.ポリシー(規程)も責任者も明確になっていない
- 5.わからない

⑤ 無線LANのセキュリティ等全般について

回答には以下のような特徴がみられた。

- セキュリティに対する不安がある団体は自治体、企業ともに減少している(Q31)。
- サービスの整備更改や、セキュリティに関する整備更改を実施または検討している企業は今年になって大きく減少した。長期化する新型コロナウイルスの影響と、円安による物価高、企業業績の悪化が投資計画の縮小につながっていると考えられる(Q32/Q34)。
- 新規技術として、Wi-Fi 6の導入あるいは導入検討をしている率は横ばいであるが、ローカル5Gについては減少した。ローカル5Gの導入、普及が思うように進んでいないとみられる(Q36/Q39)。
- 前年向上したセキュリティの手引きの認知率は、本年は横ばいの結果となった(Q40)。
- 手引きには、技術的な観点や具体的な事例などの記載が要望されている(Q41)。

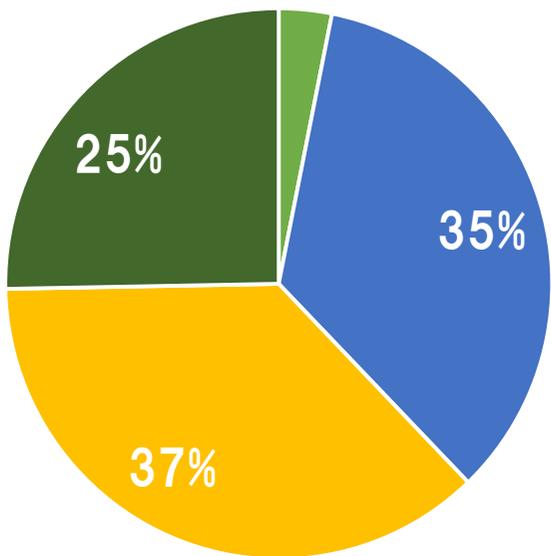
Q31:サービスのセキュリティへの不安

【単一回答】

セキュリティに対する不安は前年よりも減少（自治体42%→38%、企業41%→36%）

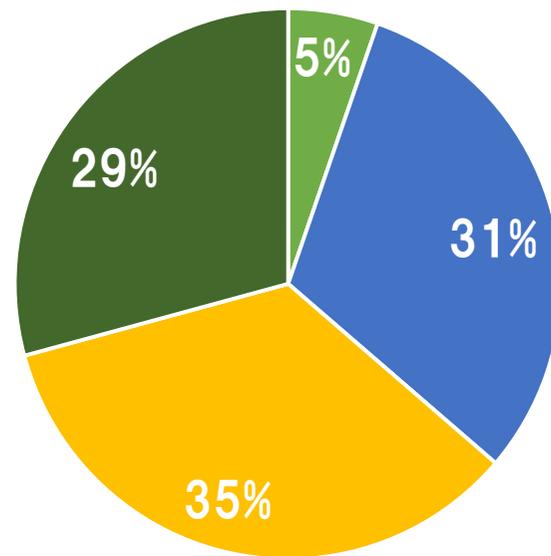
自治体

企業



【n=767】

選択回答	1	2	3	4
件数	24	266	283	194
割合	3%	35%	37%	25%



【n=113】

選択回答	1	2	3	4
件数	6	35	39	33
割合	5%	31%	35%	29%

■ 1.いつも不安になる	■ 2.時々不安になる
■ 3.あまり不安にならない	■ 4.特に不安は感じない

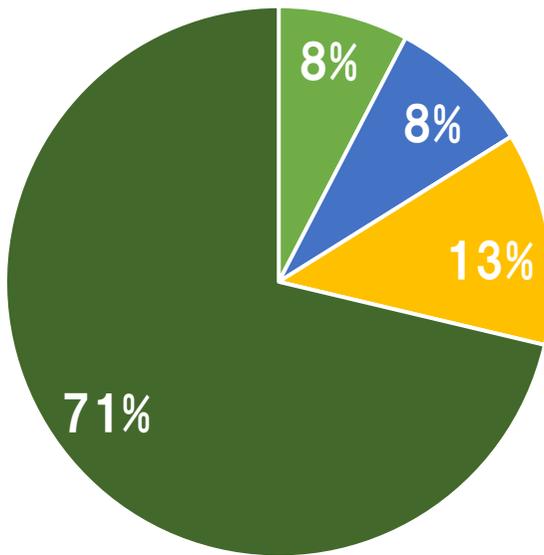
Q32:サービスの設備拡充や更改計画

【単一回答】

整備更改等を実施・検討している率が大きく減少(自治体41%→29%、企業54%→38%)

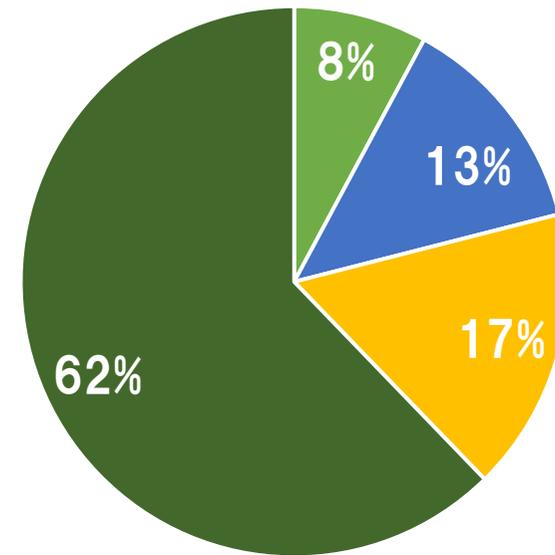
自治体

企業



【n=767】

選択回答	1	2	3	4
件数	59	65	96	547
割合	8%	8%	13%	71%



【n=114】

選択回答	1	2	3	4
件数	9	15	19	71
割合	8%	13%	17%	62%

■ 1.今年度実施している

■ 2.今後予定している

■ 3.検討中である

■ 4.現時点で検討していない

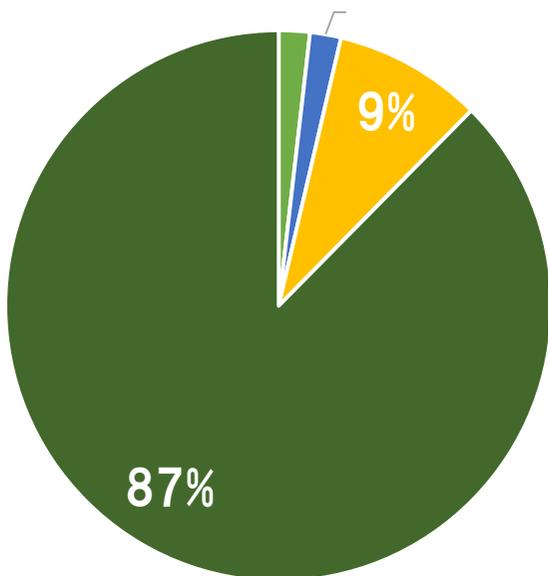
Q34:サービスのセキュリティ強化計画

【単一回答】

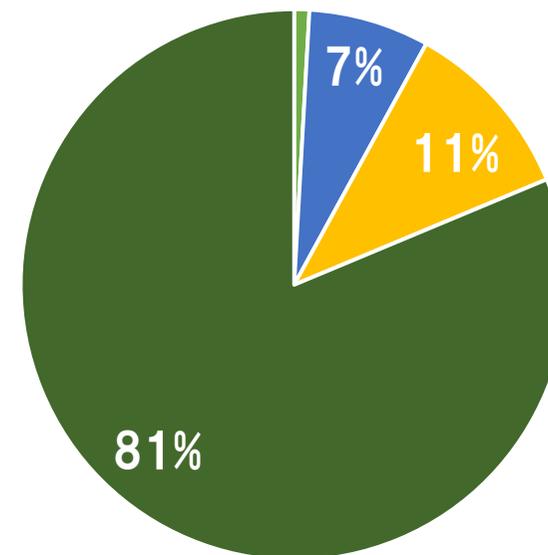
セキュリティ強化を実施・検討している割合が減少(自治体24%→13%、企業36%→19%)

自治体

企業



【n=763】



【n=112】

選択回答	1	2	3	4
件数	14	14	67	668
割合	2%	2%	9%	88%

選択回答	1	2	3	4
件数	1	8	12	91
割合	1%	7%	11%	81%

■ 1.今年度実施している

■ 2.今後予定している

■ 3.検討中である

■ 4.現時点で検討していない

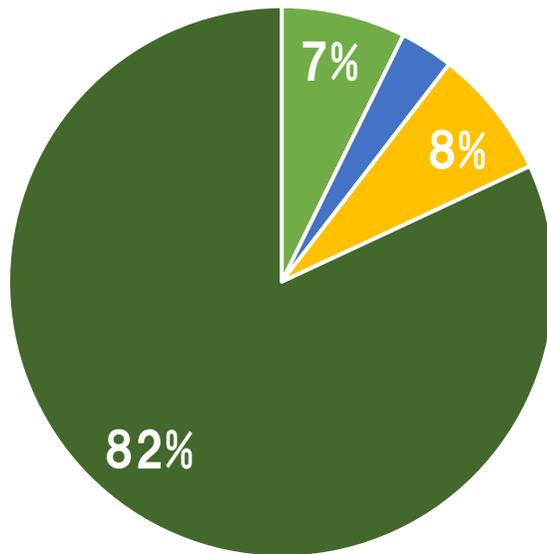
Q36:Wi-Fi 6の導入予定

【単一回答】

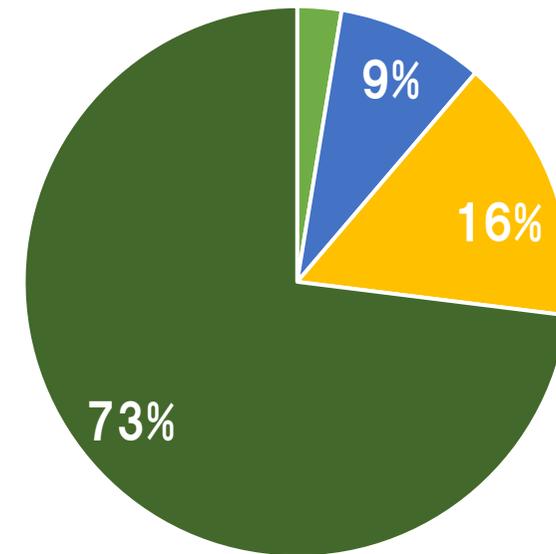
Wi-Fi 6の導入更改を実施検討している割合は横ばい(自治体18%→18%、企業26%→27%)

自治体

企業



【n=762】



【n=115】

選択回答	1	2	3	4
件数	56	24	58	624
割合	7%	3%	8%	82%

選択回答	1	2	3	4
件数	3	10	18	84
割合	3%	9%	16%	73%

■ 1.今年度導入している

■ 2.今後予定している(予算申請中を含む。)

■ 3.検討中である

■ 4.現時点で検討していない

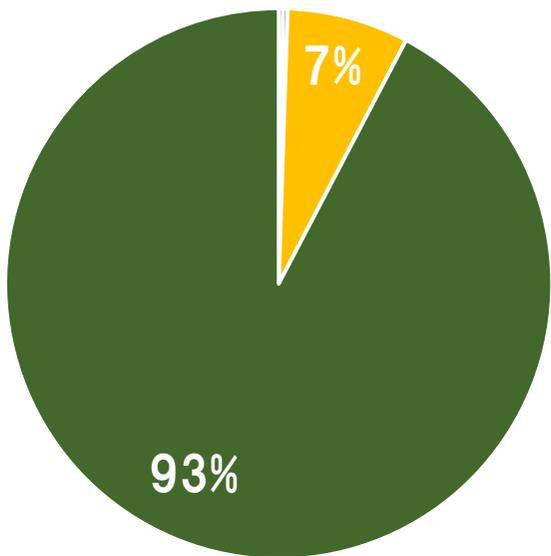
Q39:ローカル5Gの導入予定

【単一回答】

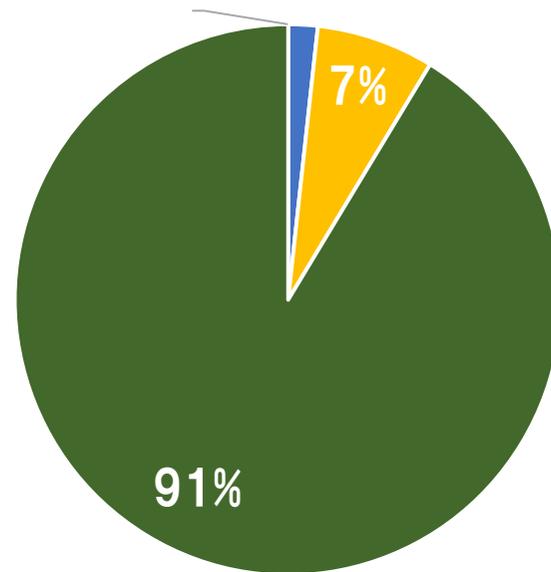
「ローカル5G」の導入を検討している割合は減少(自治体9%→7%、企業14%→9%)

自治体

企業



【n=764】



【n=115】

選択回答	1	2	3	4
件数	2	2	55	705
割合	0%	0%	7%	92%

選択回答	1	2	3	4
件数	0	2	8	105
割合	0%	2%	7%	91%

■ 1.今年度導入している	■ 2.今後予定している(予算申請中を含む。)
■ 3.検討中である	■ 4.現時点で検討していない

Q40:セキュリティ対策の手引き

内容を見た団体の率は横ばい。自治体(39%→39%)、企業(29%→26%)

自治体

【n=768】



選択回答	1	2	3	4
件数	294	10	175	289
割合	38%	1%	23%	38%

企業

【n=115】



選択回答	1	2	3	4
件数	29	1	31	54
割合	25%	1%	27%	47%

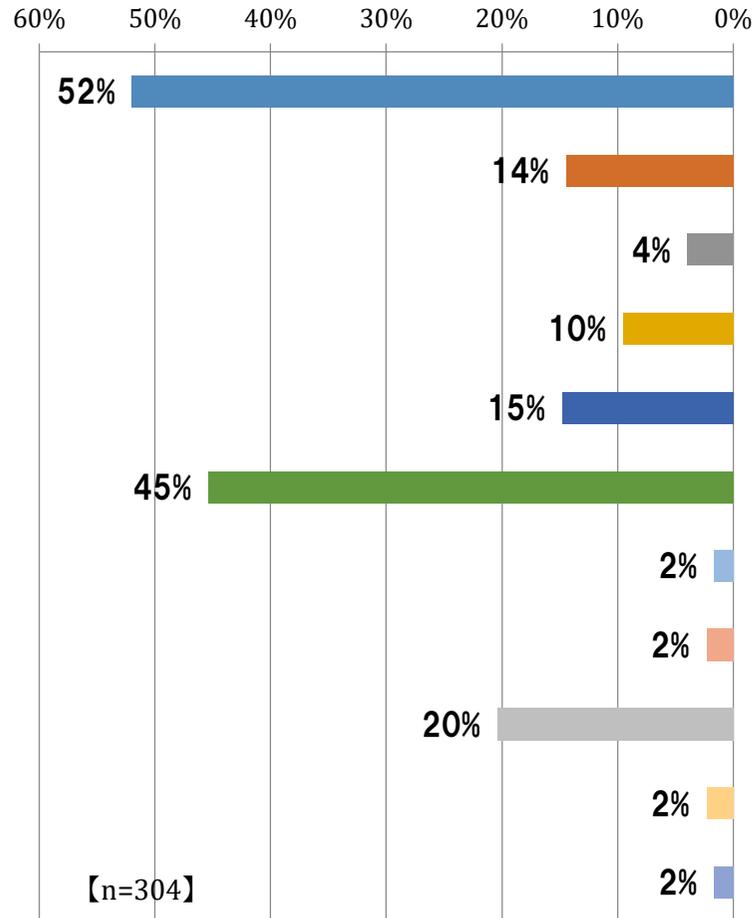
- 1.内容を見たことがあり、参考になった
- 2.内容を見たことがあるが、参考にならなかった
- 3.存在は知っていたが、内容を見たことはない
- 4.知らなかった

Q41:セキュリティ対策の手引きの内容

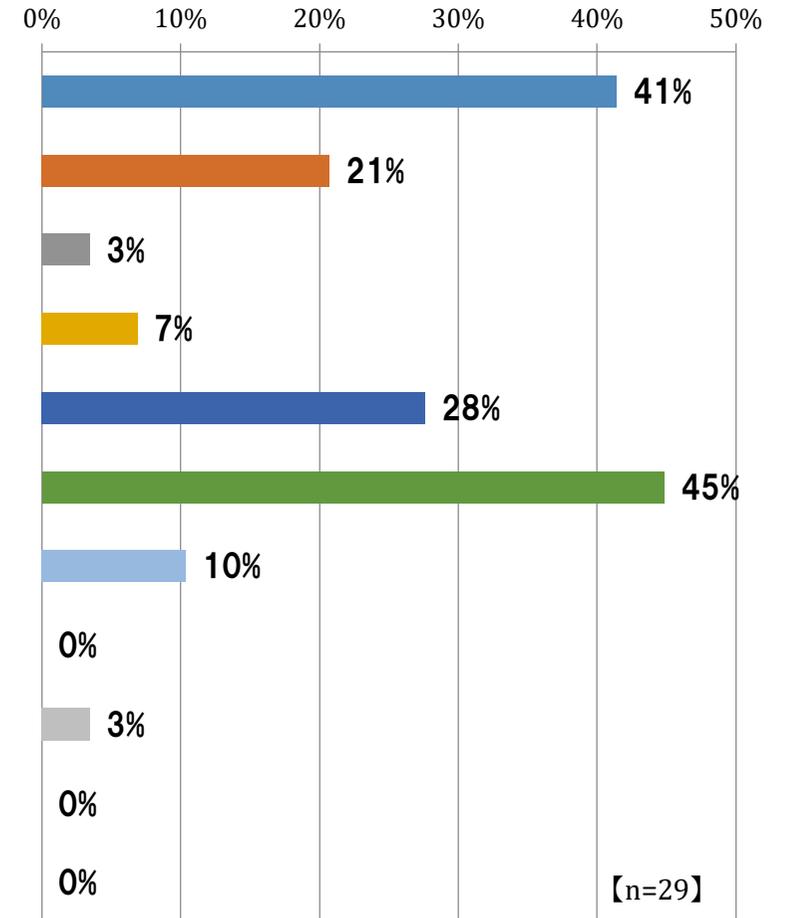
【複数回答】

企業の満足度は減少(68%→41%)、技術的な観点及び具体的な例の記載への要望が増加

自治体



企業



1. 内容が充実しており参考になった
2. もっと技術的な観点からの記載がほしかった
3. もっと経営層的な観点からの記載がほしかった
4. もっと業務委託を意識した記載がほしかった
5. もっと具体的な例の記載がほしかった
6. 読みやすい構成だった
7. 全体構成がわかりにくかった(どこを読んでよいかわからなかった)
8. ページ数(分量)が多すぎた
9. ページ数(分量)は適切であった
10. ページ数(分量)が少なすぎた
11. その他

選択回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
件数	158	44	12	29	45	138	5	7	62	7	5
割合	52%	14%	4%	10%	15%	45%	2%	2%	20%	2%	2%

選択回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
件数	12	6	1	2	8	13	3	0	1	0	0
割合	41%	21%	3%	7%	28%	45%	10%	0%	3%	0%	0%

⑥ 企業における業種による特徴について

企業のデータについて、業種別の特徴についてまとめて示す。

回答には以下のような特徴がみられた。

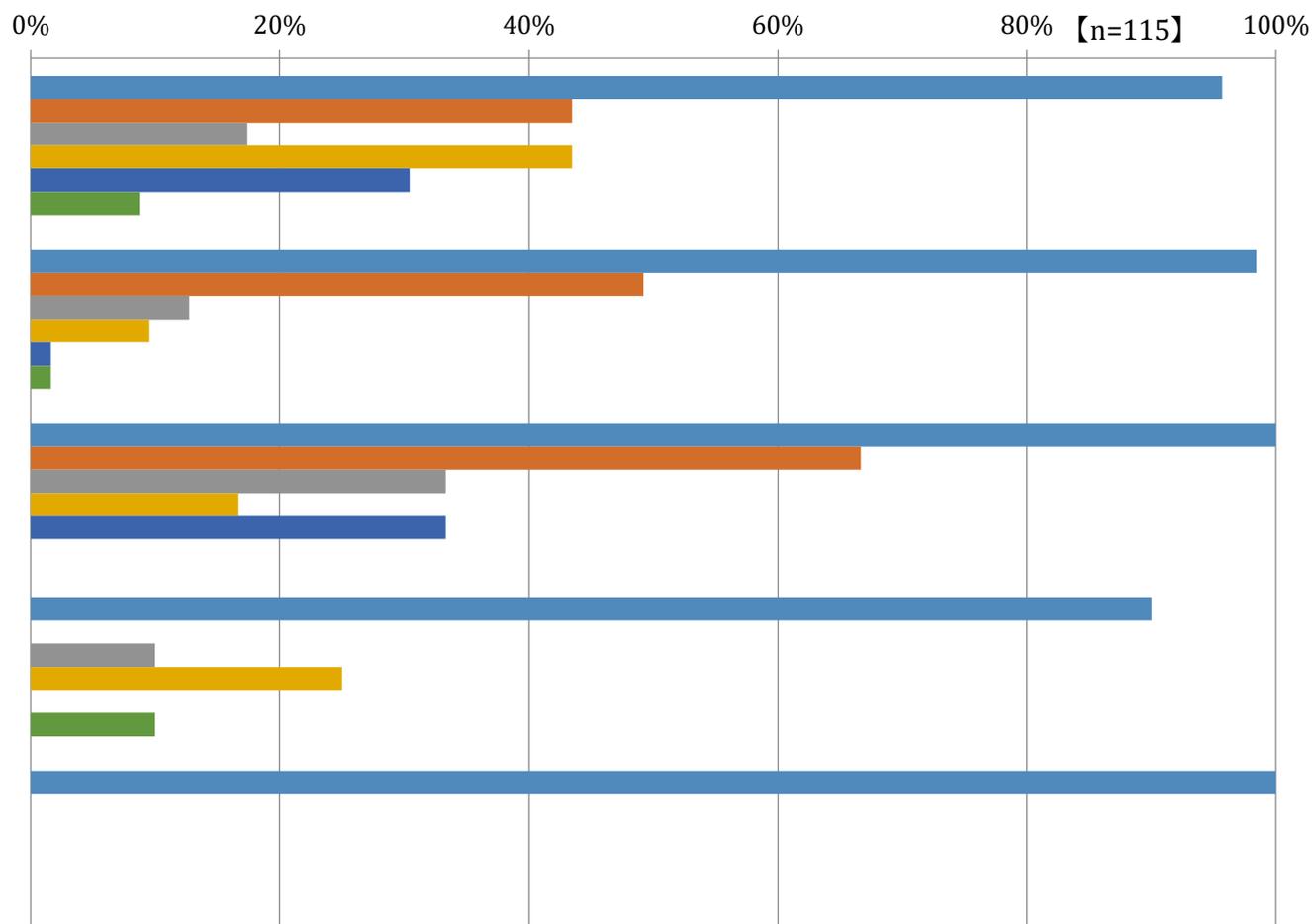
- 無線LANの目的は「来訪者サービスの向上」はあらゆる業種で多く、「災害時の活用」は交通機関、小売業、医療関連施設に多い。なお「通信事業者からの依頼」については交通機関と小売業に集中している(Q7)。
- 無線LANの暗号化については、利用の簡便性(ユーザの利便性)から交通機関は暗号化なしが多いが、宿泊施設や医療機関は暗号化率が高い(Q9)。
- 宿泊施設は、セキュリティの責任者が決まっていない事例が多く(Q25)、セキュリティに関する認識も低い事例が多い(Q13)。特に、利用規約や初期画面など利用者に対する対応についても不十分な例が多く、新技術に対する認識度も低い(Q26/Q27)。
- 医療関係は、他と明確に異なる数字を示しており、特に電子カルテなどを扱うことから、セキュリティへの不安(Q31)や、セキュリティ対策についての関心も高い(Q40)。また、医療施設は、サービスの整備やセキュリティ強化に対する実施について前向きな回答が多い(Q34)。これらは新型コロナによる影響で、患者向けWi-Fiの需要によるものと思われる。

Q7: 無線LANサービスの目的

【複数回答】

「災害時の活用」は交通機関、小売業が多い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	63	55%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	17%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



1. 来訪者サービスの向上

2. 観光客の誘客

3. 自社・自団体に関する情報の発信

4. 災害時の活用

5. 携帯キャリアや無線LAN通信事業者からの依頼

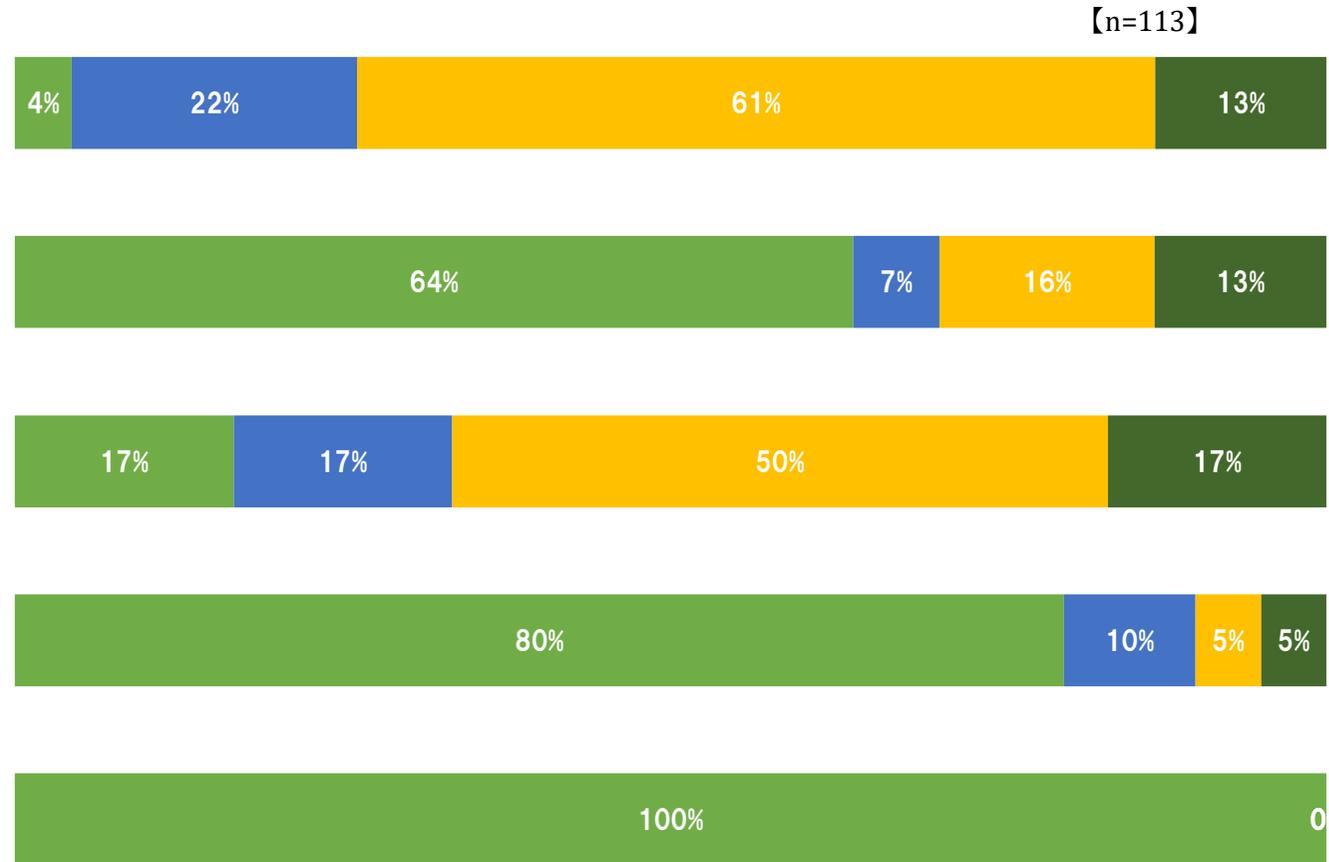
6. その他

Q9: 無線LANサービスの暗号化

【単一回答】

交通機関は暗号化していない率が高く、宿泊・医療は暗号化率が高い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	61	54%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	18%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



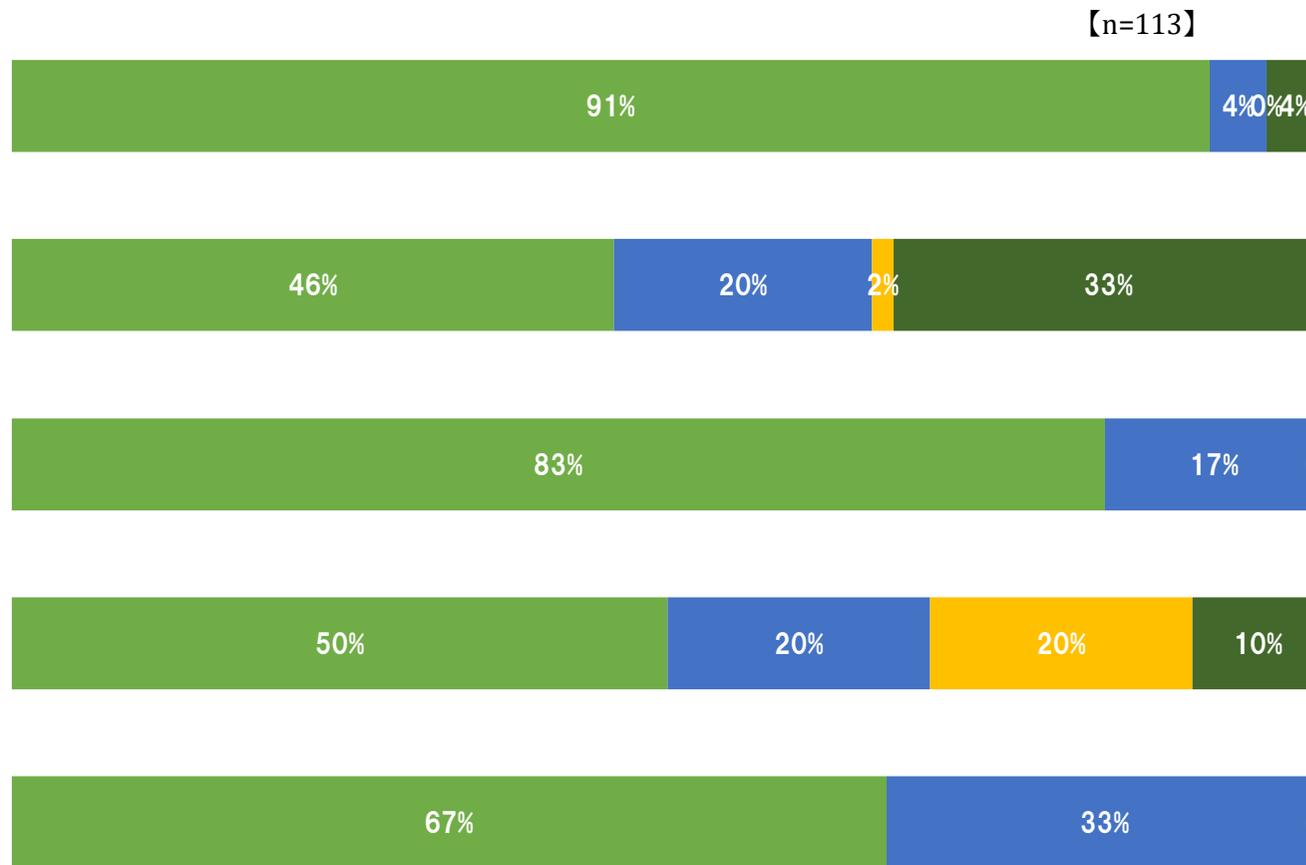
- 1. 暗号化している
- 2. 暗号化しているものと、暗号化していないものの両方を提供している
- 3. 暗号化していない
- 4. わからない

Q13:セキュリティリスクに対する認識

【単一回答】

宿泊施設や医療施設は他に比べリスクの認識率は低い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	61	54%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	18%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



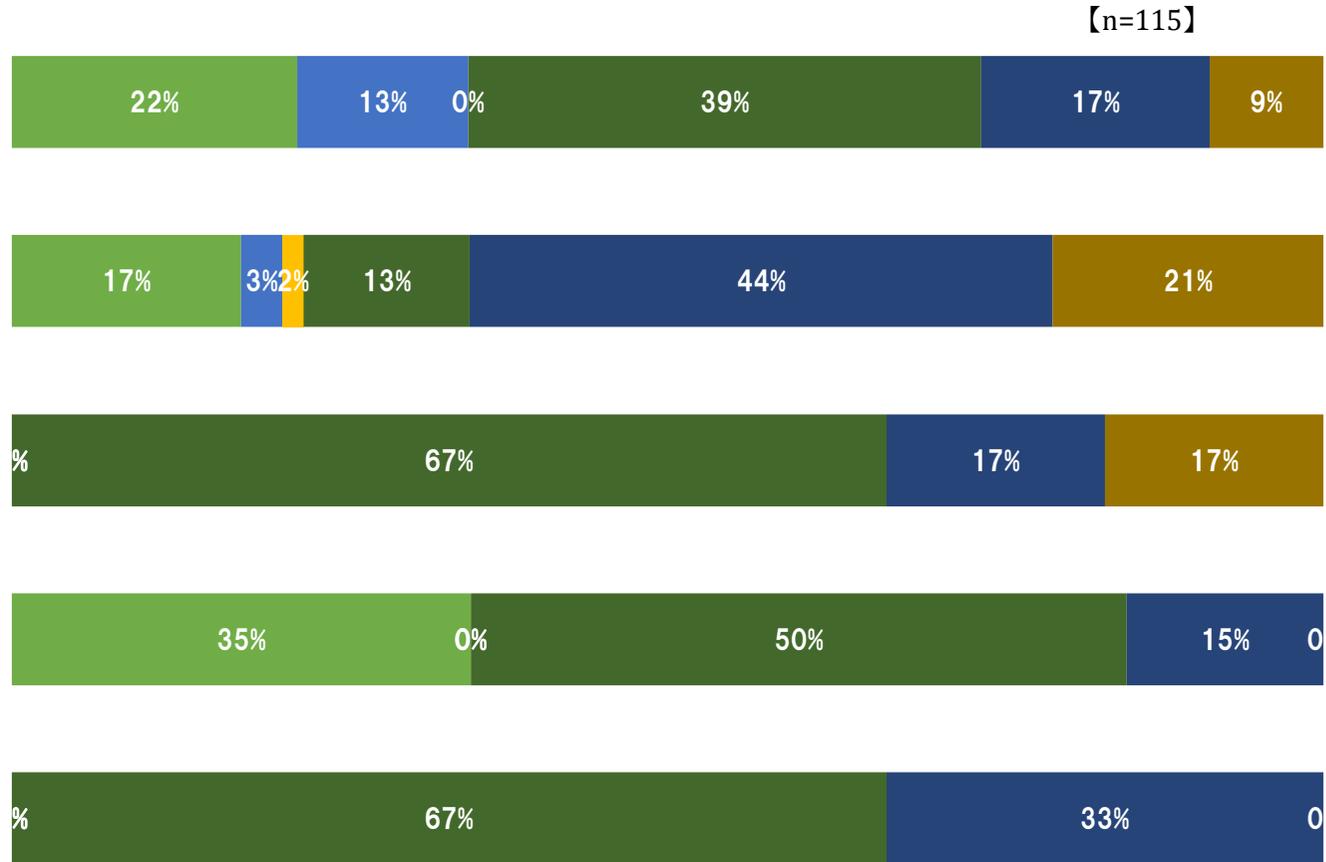
- 1. 読解可能なリスクも、偽アクセスポイント設置のリスクも知っていた
- 2. 読解可能なリスクのみ知っていた
- 3. 偽アクセスポイント設置のリスクのみ知っていた
- 4. リスクが生じることを知らなかった

Q25:セキュリティ責任者の設置

【単一回答】

宿泊施設で責任者が決まっていない率が高い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	63	55%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	17%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



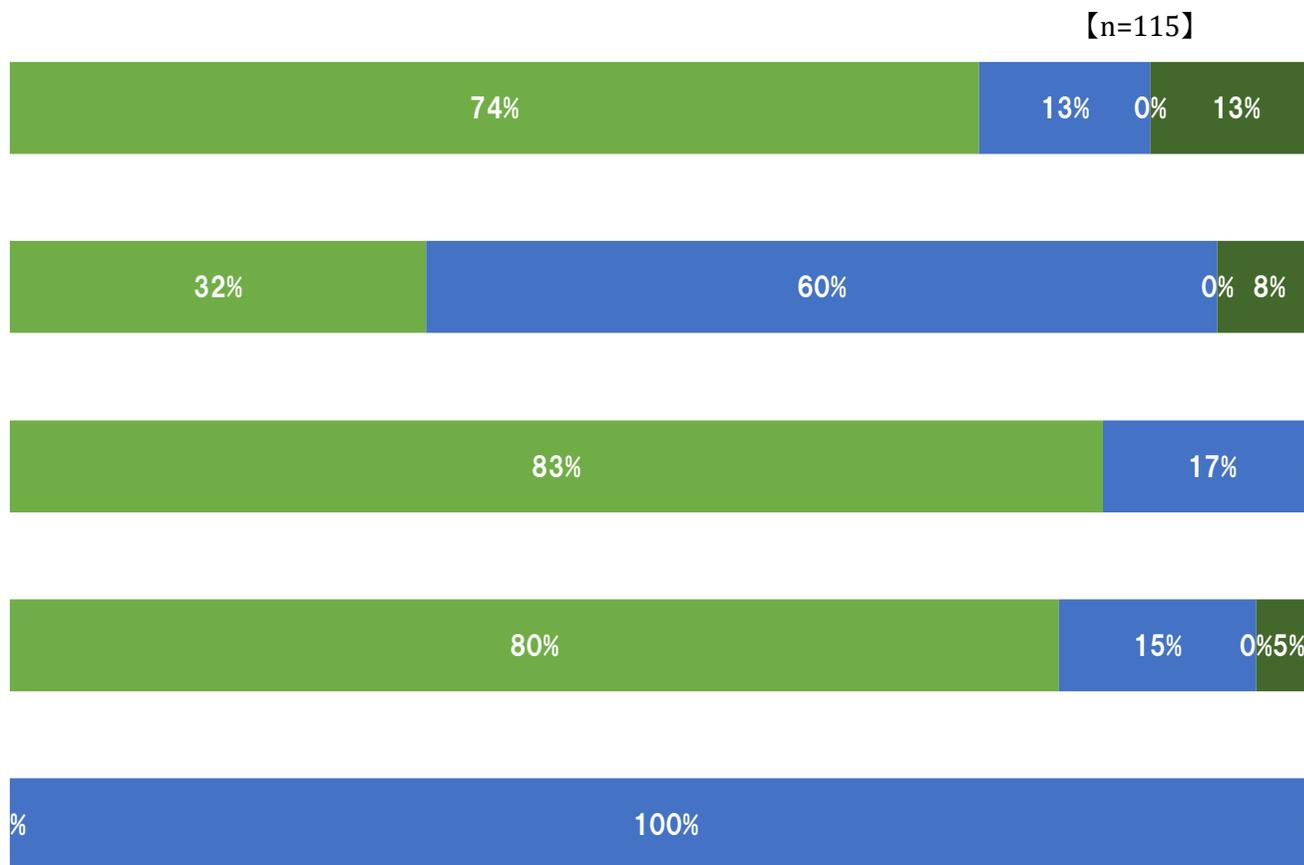
- 1. 経営層のCISOを設置している(社内規程等の内部規程で明確に定めている)
- 2. 経営層のCISOを設置している(社内規程等の内部規程では定めていない)
- 3. 経営層ではないが、CISOを設置している
- 4. CISOではないが、情報セキュリティの責任者を決めている
- 5. 情報セキュリティの責任者は決まっていない
- 6. わからない

Q26: 無線LANサービスの利用規約

【単一回答】

宿泊施設等は利用規約を定めていない率が高い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	63	55%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	17%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



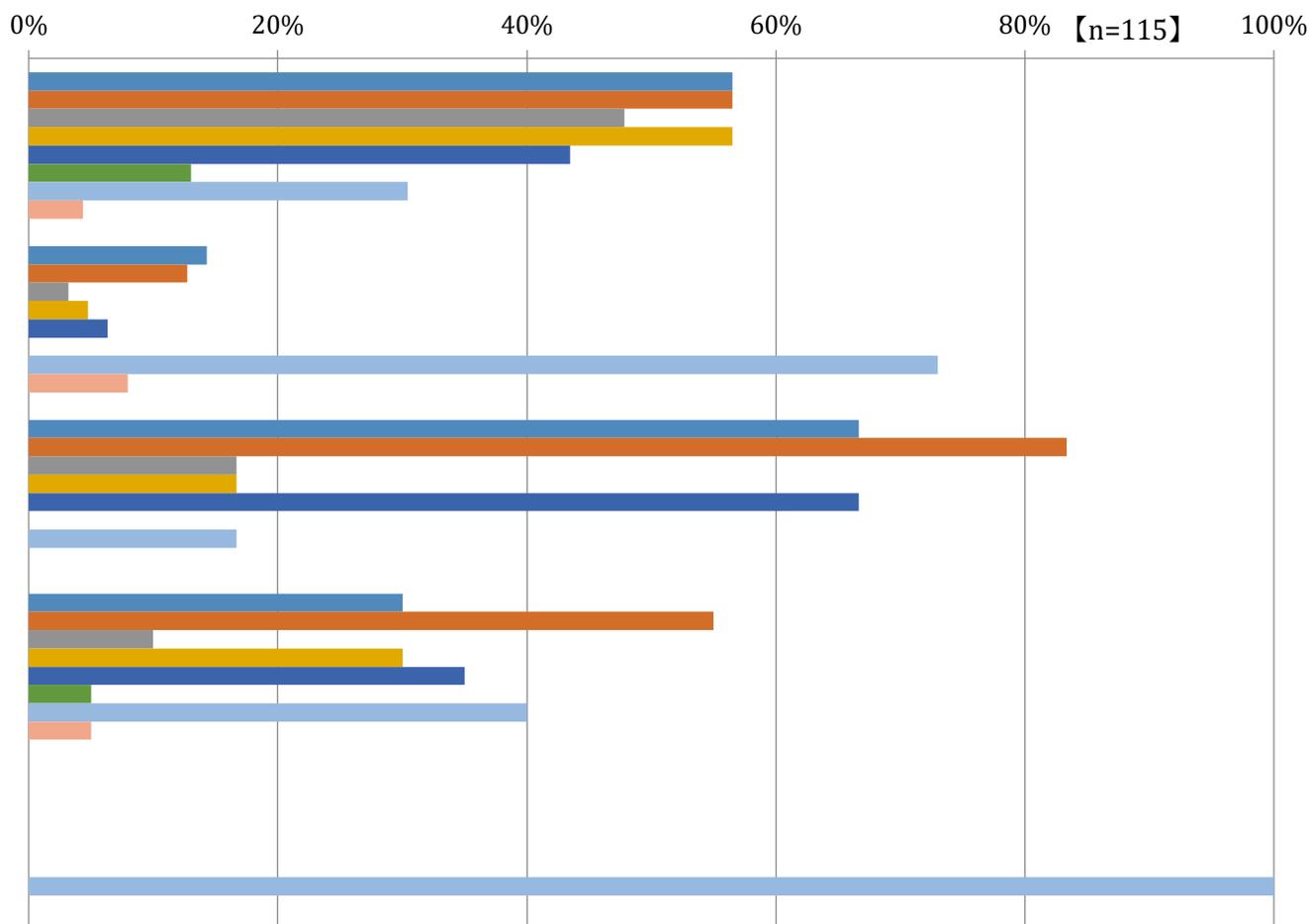
■ 1. 定めている	■ 2. 定めていない
■ 3. 定めている無線LANサービスと、定めていない無線LANサービスの両方がある	■ 4. わからない

Q27:無線LANサービスの初期画面

【複数回答】

宿泊施設は初期画面を設けていない率が高い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	63	55%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	17%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



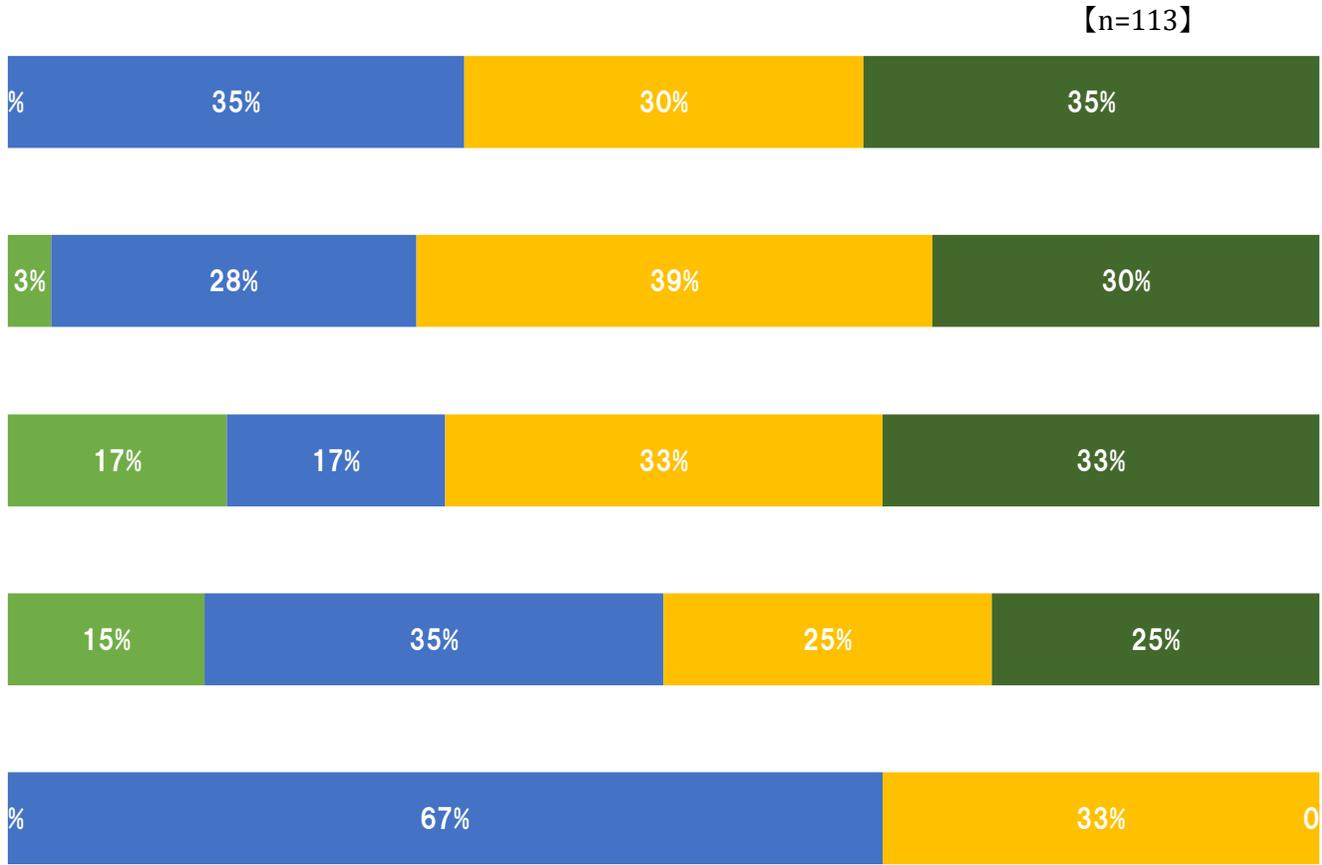
- 1.無線LANサービスの提供者(事業者)名称
- 2.利用条件(料金や利用時間等)
- 3.無線LANの暗号化の有無や暗号化方式
- 4.無線LANのセキュリティに関する注意喚起
- 5.個人情報の取扱い方針
- 6.その他
- 7.初期画面を設けていない
- 8.わからない

Q31:サービスのセキュリティへの不安

【単一回答】

医療はセキュリティに対する不安がある事例が多い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	61	54%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	18%
娯楽遊戯施設関連	3	3%

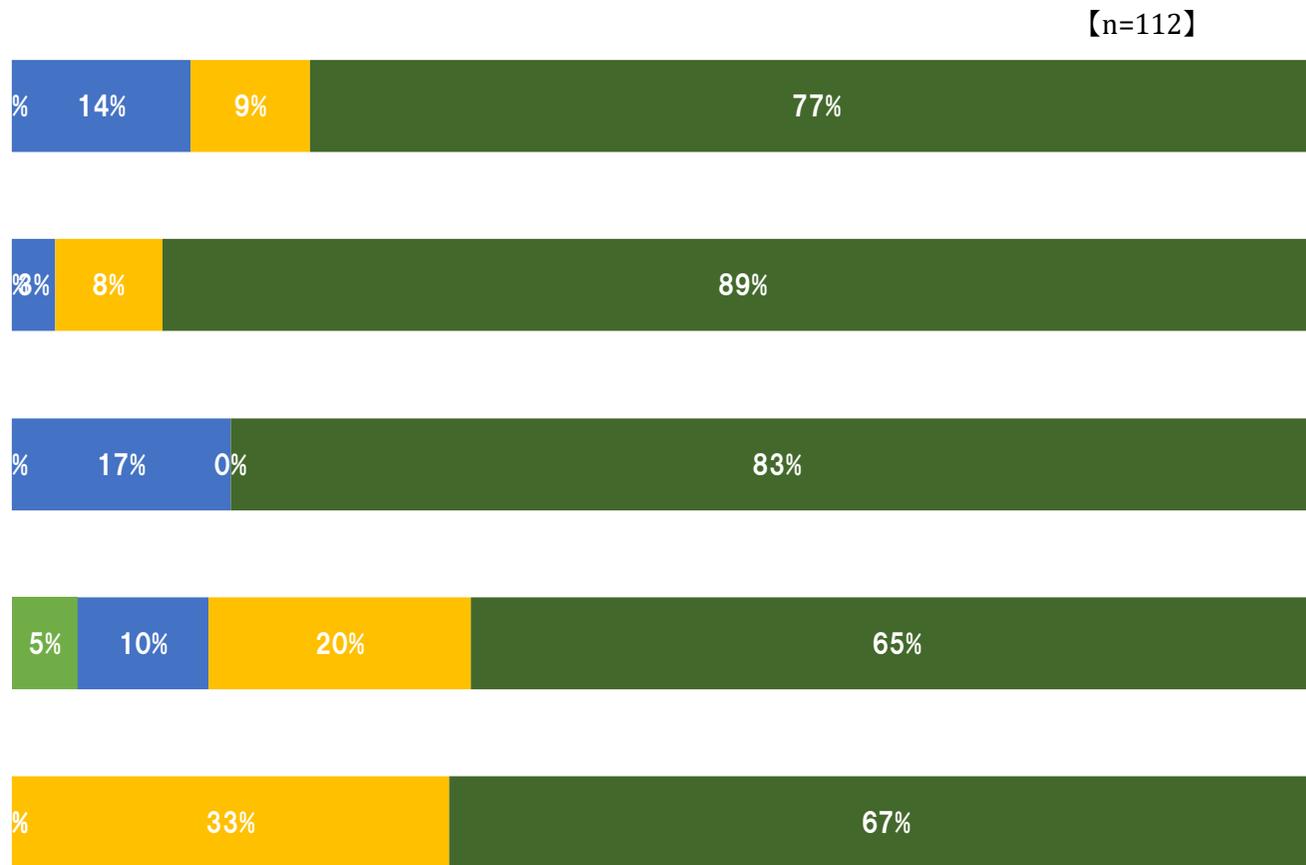


■ 1.いつも不安になる	■ 2.時々不安になる
■ 3.あまり不安にならない	■ 4.特に不安は感じない

Q34:サービスのセキュリティ強化計画

医療施設はセキュリティ強化を実施あるいは計画している事例が多い。

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	22	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	61	54%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	18%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



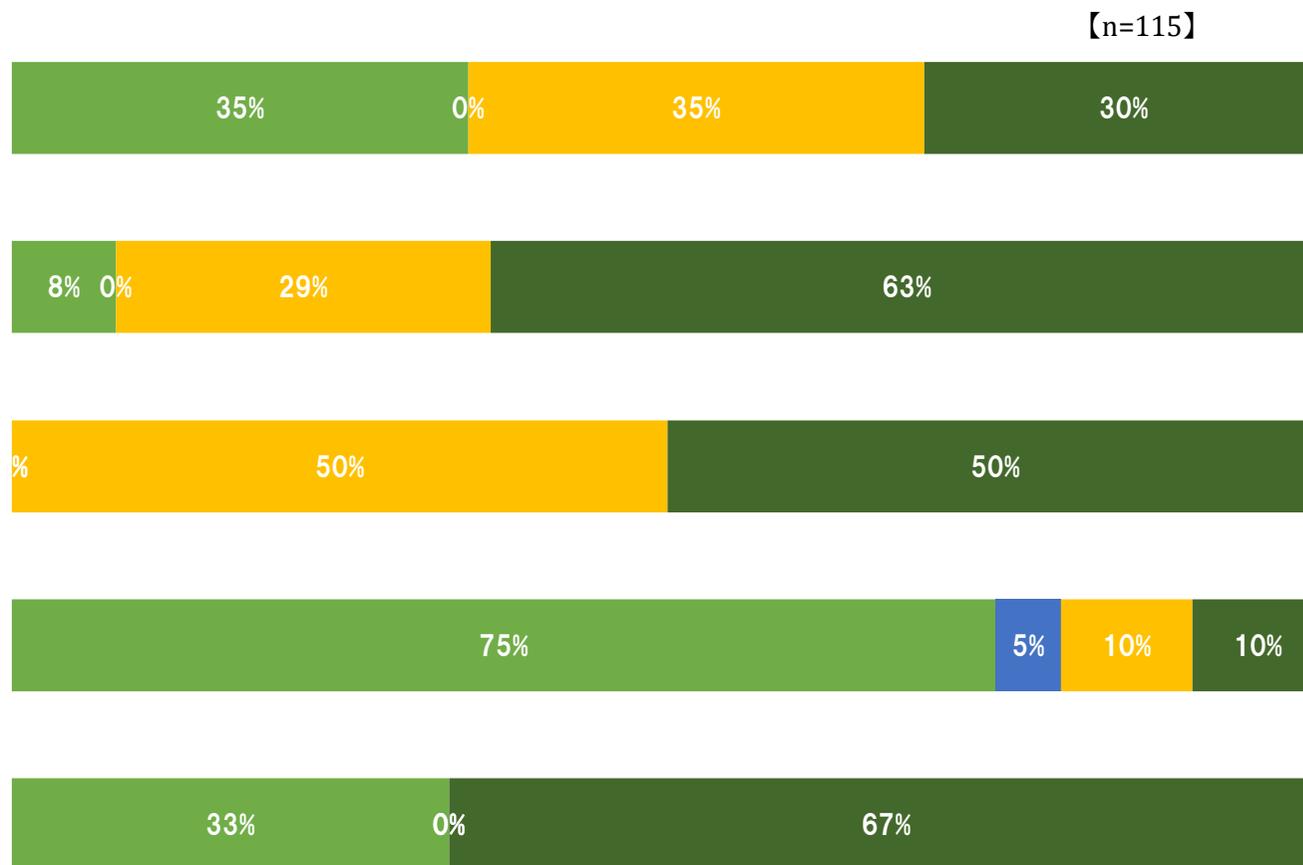
■ 1.今年度実施している	■ 2.今後予定している
■ 3.検討中である	■ 4.現時点で検討していない

Q40:セキュリティ対策の手引き

【単一回答】

交通機関や医療施設は参考にしている率が多い

選択回答	件数	割合
交通機関 (鉄道・空港・バス関連)	23	20%
宿泊施設 (貸会議室等を含む)	63	55%
小売業 (小売店・飲食店・薬局)	6	5%
医療施設関連	20	17%
娯楽遊戯施設関連	3	3%



1.内容を見たことがあり、参考になった

2.内容を見たことがあるが、参考にならなかった

3.存在は知っていたが、内容を見たことはない

4.知らなかった

⑦ 情報セキュリティ責任者の設定の有無による結果の差異について

Q22の設問(セキュリティ責任者を設定)をベースに、自治体データを対象として解析を本年も行った。

回答には以下のような特徴がみられた。

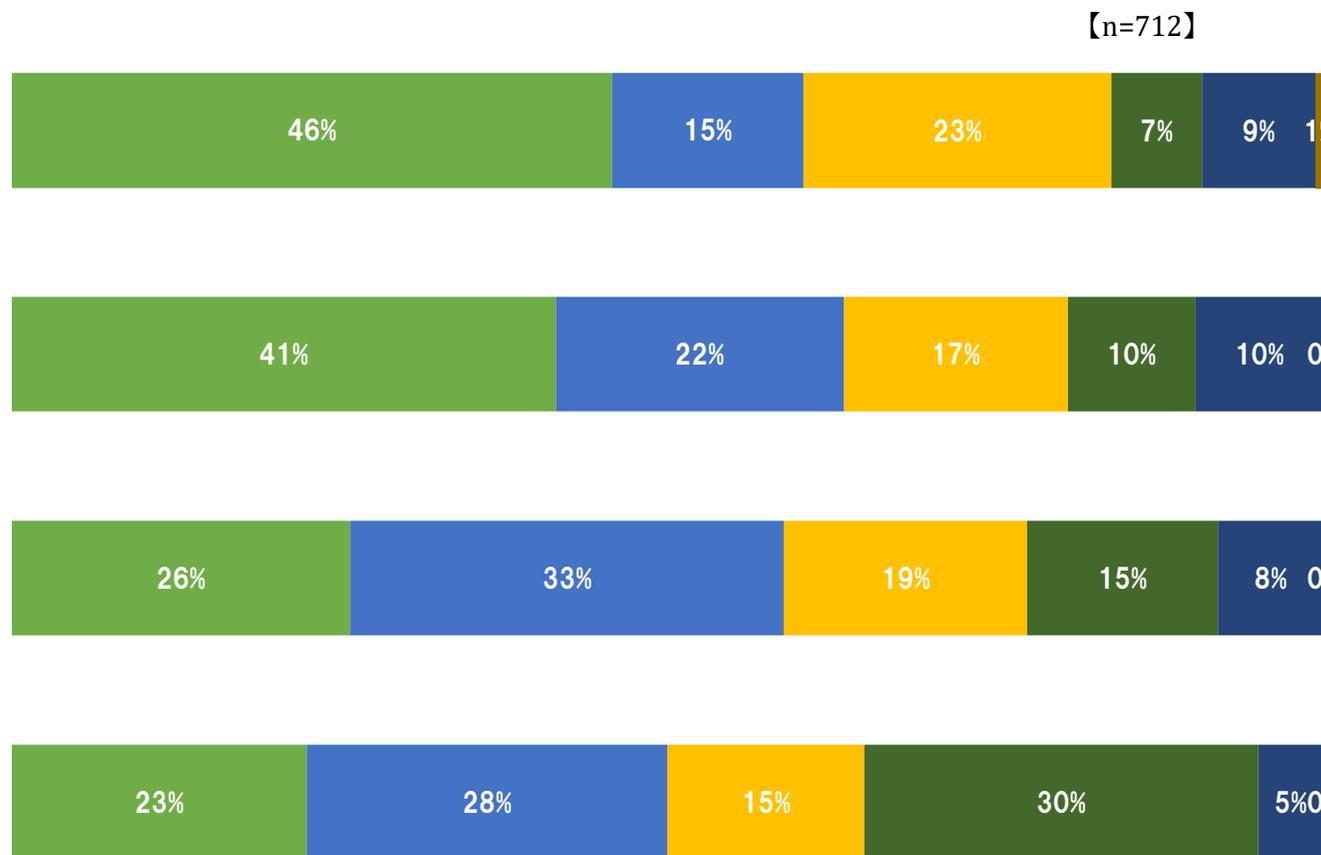
- セキュリティ責任者の設置は、全般的に、セキュリティの向上をもたらしていることがわかる。セキュリティリスクに対する認知率も高い傾向がみられる。
- また、新技術の認知率も高く、導入に対して前向きであることが分かった。

Q6: 無線LANサービスの運用管理

【単一回答】

責任者設置の有無と運用管理の厳格さと相関あり

選択回答	件数	割合
経営層のCISO (規程あり)	507	71%
CISOあり (規程なし)	41	6%
CISOなし (責任者あり)	124	17%
CISOなし (責任者なし)	40	6%

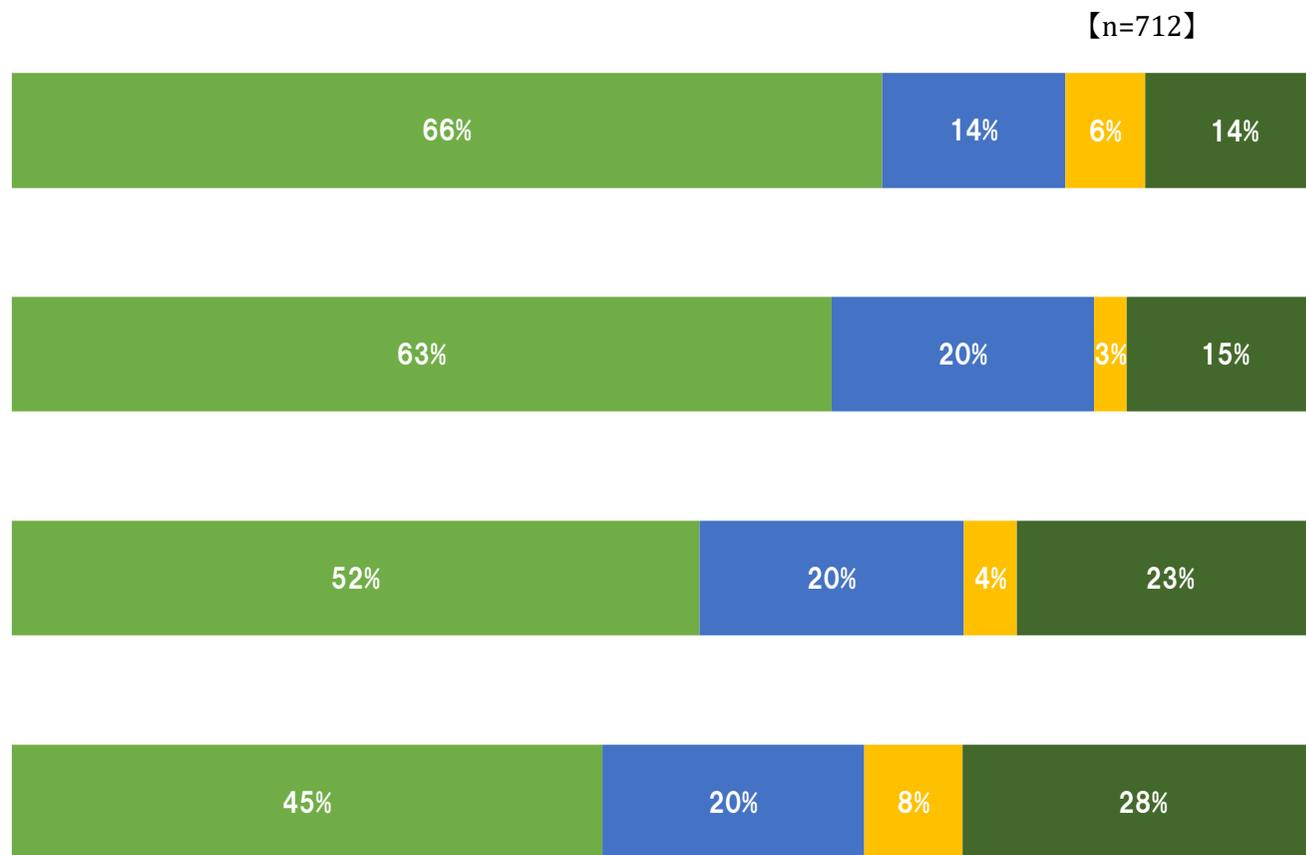


- 1. システム部門の社員・職員が担当している
- 2. システム部門外の社員・職員が担当している
- 3. 委託した外部業者が担当している
- 4. 担当者がいない(構築だけ外部業者に発注した等)
- 5. その他
- 6. わからない

Q13:セキュリティリスクに対する認識

責任者の設置の有無と、セキュリティリスクに対する認識との相関あり

選択回答	件数	割合
経営層のCISO (規程あり)	508	71%
CISOあり (規程なし)	40	6%
CISOなし (責任者あり)	124	17%
CISOなし (責任者なし)	40	6%

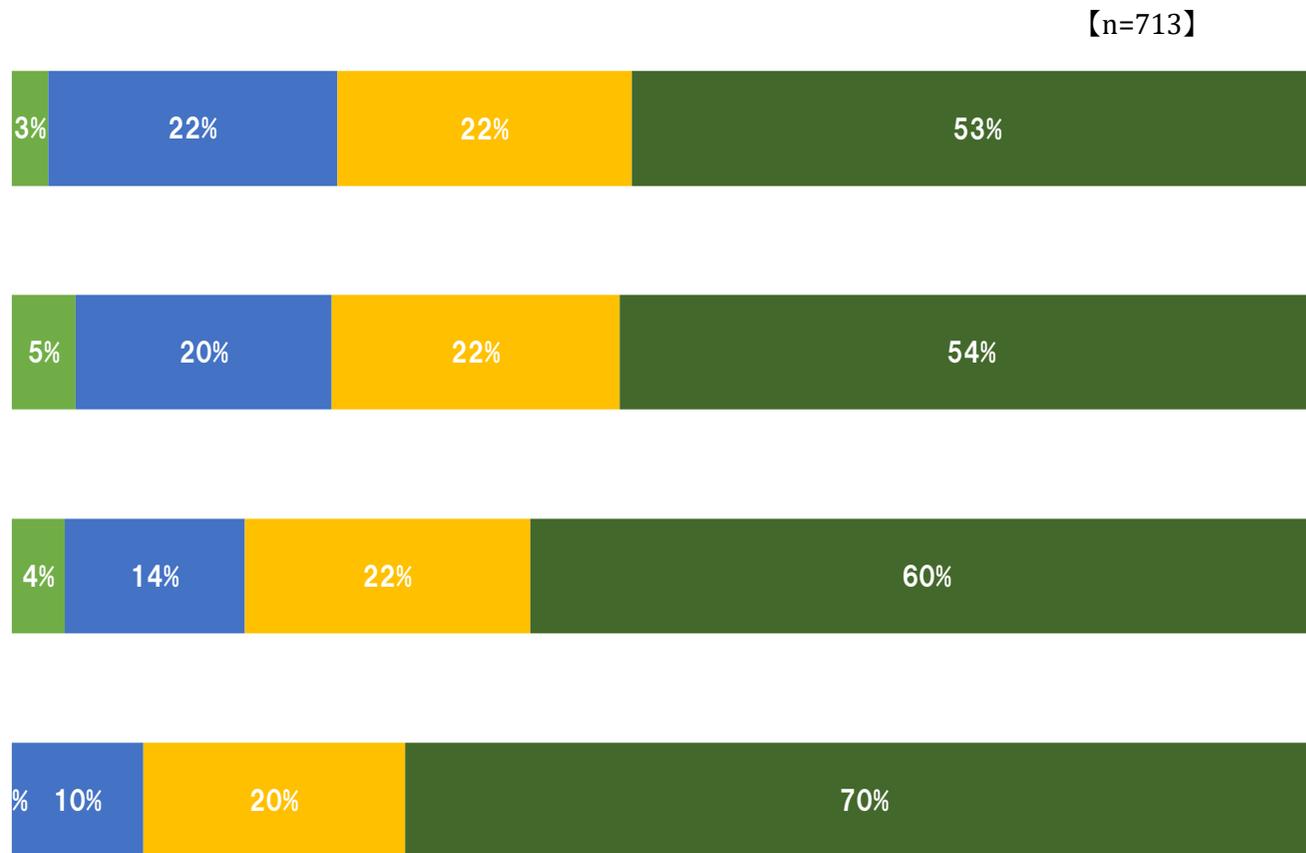


■ 1. 解読可能なリスクも、偽アクセスポイント設置のリスクも知っていた	■ 2. 解読可能なリスクのみ知っていた
■ 3. 偽アクセスポイント設置のリスクのみ知っていた	■ 4. リスクが生じることを知らなかった

Q15:新しい暗号化方式(Enhanced Open)

責任者の設置の有無と、Enhanced Openに対する認識との相関あり

選択回答	件数	割合
経営層のCISO (規程あり)	508	71%
CISOあり (規程なし)	41	6%
CISOなし (責任者あり)	124	17%
CISOなし (責任者なし)	40	6%



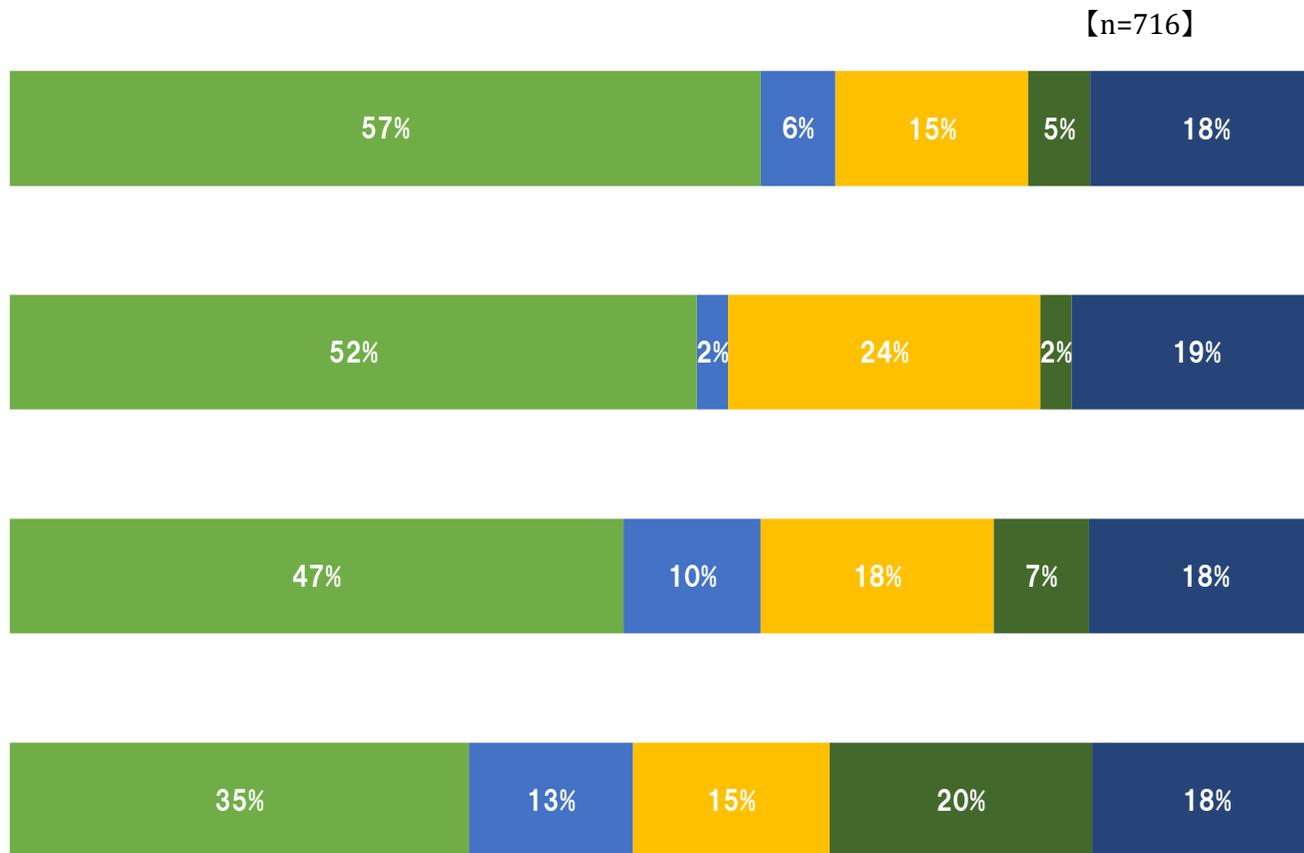
- 1. Enhanced Openについて、導入済又は導入検討中
- 2. Enhanced Openを聞いたことがあり、内容も多少知っている
- 3. Enhanced Openを聞いたことはあるが内容は知らない
- 4. Enhanced Openを聞いたことはない

Q18: 管理者パスワードの管理

【単一回答】

責任者の設置の有無と、パスワードの管理が適切に行われていることとの相関あり

選択回答	件数	割合
経営層のCISO (規程あり)	510	71%
CISOあり (規程なし)	42	6%
CISOなし (責任者あり)	124	17%
CISOなし (責任者なし)	40	6%



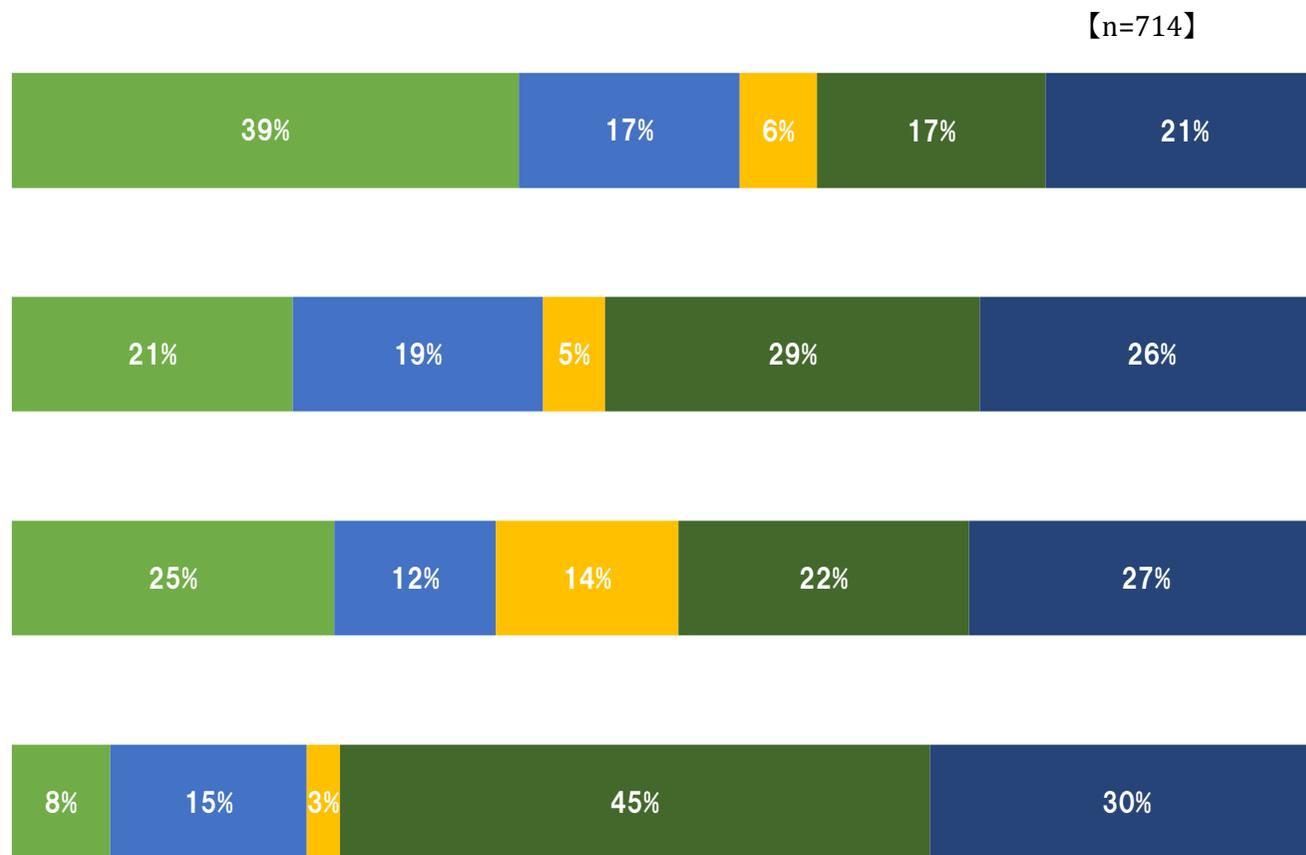
- 1. 初期設定から変更している(第三者から推測されにくいものを設定している)
- 2. 初期設定から変更している(第三者から推測されやすいものかどうか検討していない)
- 3. 初期設定のまま使用している(初期設定のパスワードが十分複雑なものであった)
- 4. 初期設定のまま使用している(初期設定のパスワードを気にしていない)
- 5. わからない

Q30:利用者情報のデータ保護

【単一回答】

責任者の設置の有無と、利用者情報を適切に管理している率との相関あり

選択回答	件数	割合
経営層のCISO (規程あり)	510	71%
CISOあり (規程なし)	42	6%
CISOなし (責任者あり)	122	17%
CISOなし (責任者なし)	40	6%



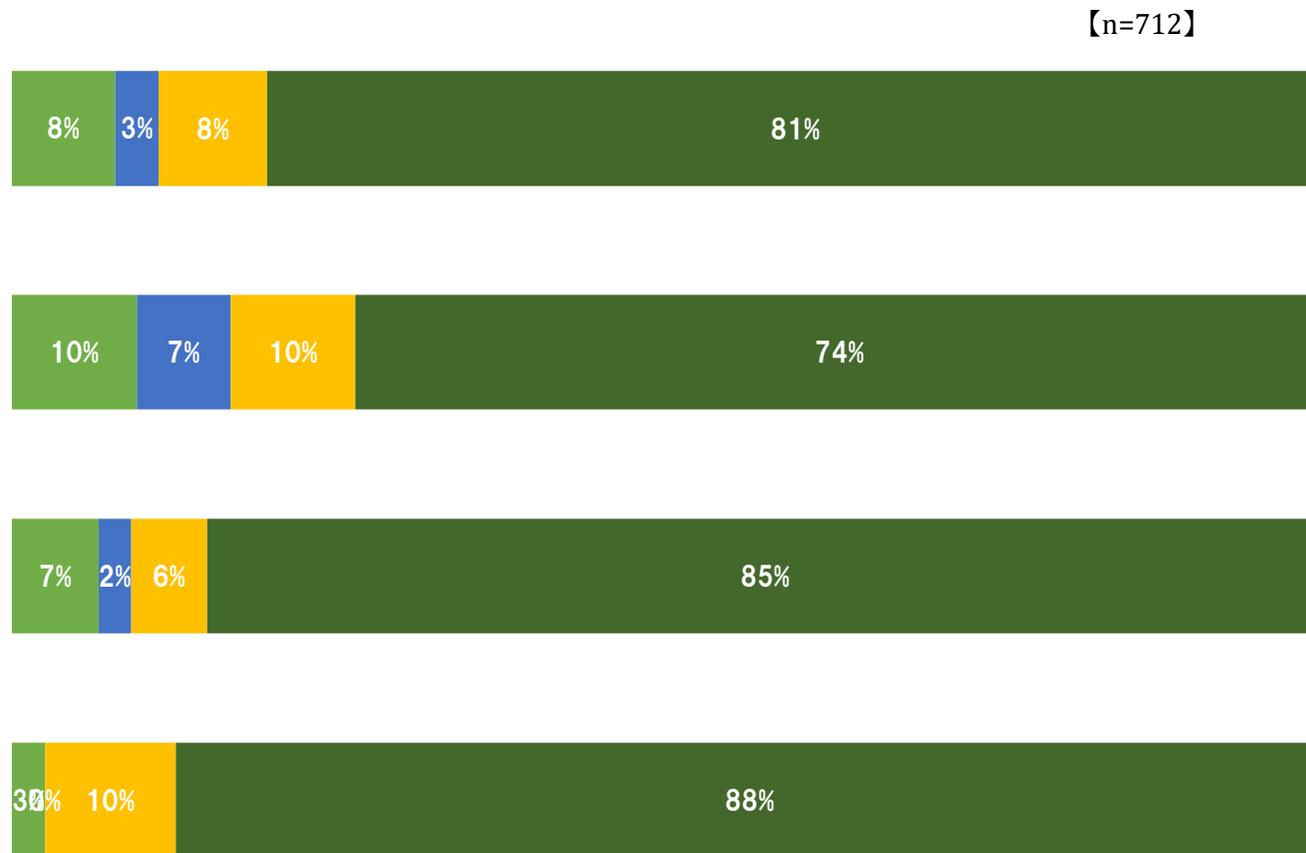
- 1.ポリシー(規程)も責任者も明確にしている
- 2.ポリシー(規程)のみ明確にしている
- 3.責任者のみ明確にしている
- 4.ポリシー(規程)も責任者も明確になっていない
- 5.わからない

Q36:Wi-Fi 6の導入予定

【単一回答】

責任者がいる方が「Wi-Fi 6」の導入を検討している率が高い

選択回答	件数	割合
経営層のCISO (規程あり)	509	71%
CISOあり (規程なし)	42	6%
CISOなし (責任者あり)	121	17%
CISOなし (責任者なし)	40	6%



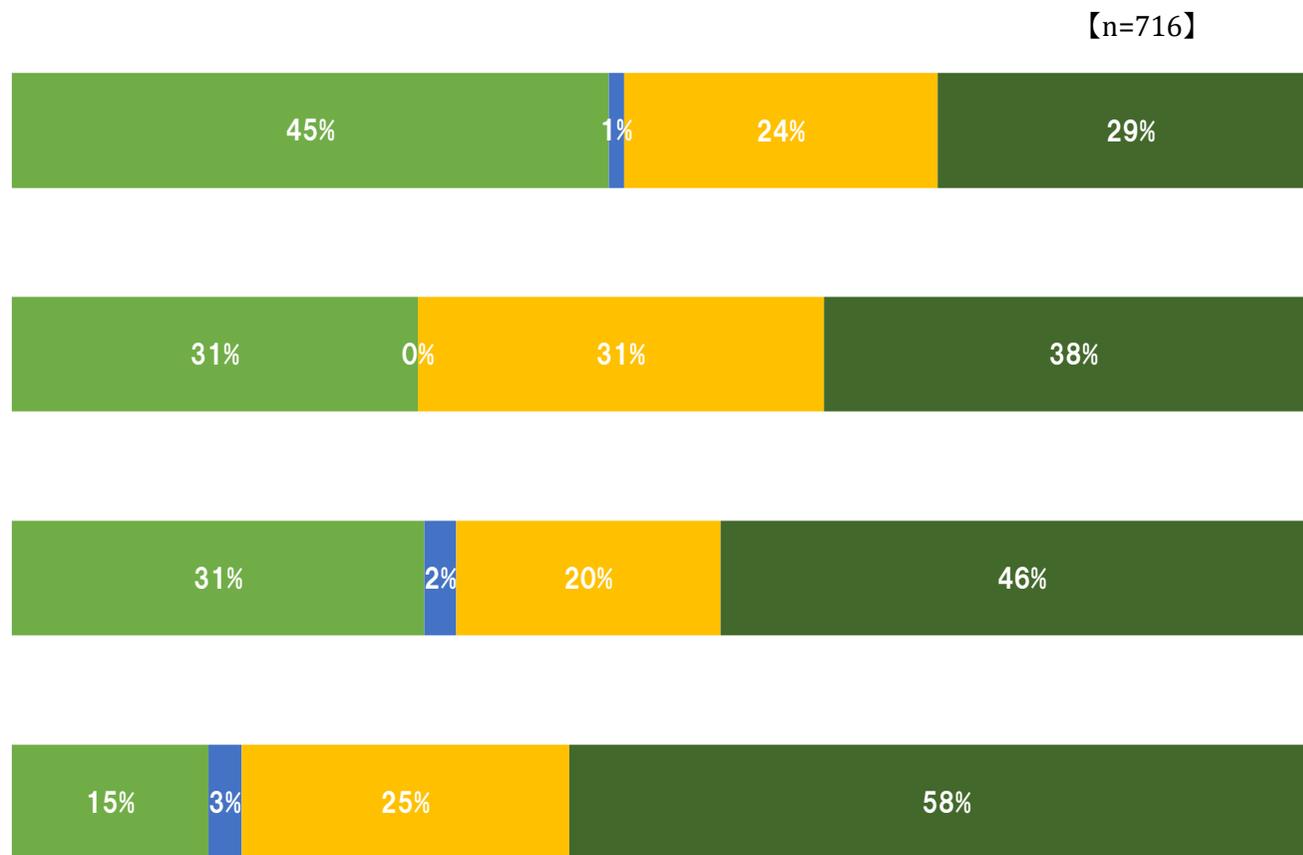
- 1.今年度導入している
- 2.今後予定している(予算申請中を含む。)
- 3.検討中である
- 4.現時点で検討していない

Q40:セキュリティ対策の手引き

【単一回答】

責任者がいる方が、「手引き」を認識している率が高い

選択回答	件数	割合
経営層のCISO (規程あり)	510	71%
CISOあり (規程なし)	42	6%
CISOなし (責任者あり)	124	17%
CISOなし (責任者なし)	40	6%



■ 1.内容を見たことがあり、参考になった

■ 2.内容を見たことがあるが、参考にならなかった

■ 3.存在は知っていたが、内容を見たことはない

■ 4.知らなかった